

2014年

小熊英二研究会卒業論文

『同窓会の可能性-群馬県立高崎高等学校同
窓会の分析を通して-』

慶應義塾大学

環境情報学部 4年

和田尉吹(71050162/t10017iw)

0. 本論要約

本研究は群馬県立高崎高等学校（以下高崎高校）同窓会の分析（その他高校の比較を含む）を通し、その特徴を明らかにすることだ。

序章では本稿の研究の枠組みを提示。本論第1章では高崎高校同窓会の概略を述べる。第2章は同窓会名簿を分析した結果をまとめる。前半部（2-1,2-2）では大学進学状況についてまとめる。後半部（2-3,2-4,2-5）では（高崎高校生が大学を出た後の）就職状況についてまとめる。第3章では「ソーシャル・キャピタル」、「ウィーク・タイズ」、「ストロング・タイズ」、「ハビトゥス」の社会学分野の概念を使い、同窓会の持続性についてまとめる。4章では地域経済（群馬県・高崎市）の状況をふまえ、同窓会についてまとめる。

このように第1～4章で、仮説である「高崎高校の同窓会組織は群馬県で二番目に古い高校同窓会組織である。同窓会は強固なソーシャル・キャピタルのもと、結束力を固め、日本の政治、経済、教育、文化等、様々な分野において社会に貢献する人材を輩出し続けている。」という点を検証する。

そして結論では以上の検証結果を踏まえ、同窓会の褒められるべき点（コミュニティ論における「公」と「私」のバランス均衡）、同窓会の批判されるべき点（メリトクラシーの限界）について述べる。そして、最後に今後の同窓会のあり方について筆者の考察を加える。

<キーワード 同窓会 進学 就職 ソーシャル・キャピタル コミュニティ 群馬県 高崎市>

〈序論〉

- 0-1. 問題意識
- 0-2. 仮説
- 0-3. 研究対象/方法
- 0-4. 先行研究
- 0-5. 研究の意義

〈本論〉

- 1章:高崎高校同窓会について
 - 1-0.序
 - 1-1.高崎高校の概略
 - 1-2.高崎高校同窓会の歴史
 - 1-3.高崎高校同窓会の組織全体像
- 2章:高崎高校卒業生の進路

2-0.序

2-1.大学進学状況

2-2.大学進学状況の分析

2-3.就職状況

2-4.就職状況の分析

2-5.一般的な高校の就職ルートとの比較

3章:同窓会の持続性

3-0.序

3-1.ソーシャル・キャピタル

3-2.ウィーク・タイズとストロング・タイズ

3-3.同窓会の社会関係資本活用の例とハビトウス

4章:同窓会と地域発展

4-0.序

4-1.経済界の機能

4-2.小活

<結論>

5章:結論

5-0.序

5-1.同窓会の褒められるべき点-「公」と「私」のバランス均衡-

5-3.同窓会の批判されるべき点-メリトクラシーの限界-

5-4.未来よ 燦(さん)と輝け-

あとがき

謝辞

<序論>

0-1.問題意識

2011年、秋。文京区の椿山荘にて高校の同窓会が開催された。そこには一緒に卒業した同期

だけでなく、何年も前に卒業された卒業生¹が多くいらっしやった。世代も勤め先も実にさまざまである。そこでは名刺交換が行われ、「君は〇〇の仕事をしているのか。では同期の××の紹介をするよ。」というようなビジネス関連の話があった。学生の私は、先輩に将来のビジョンや就職希望先を聞かれ、それに合った方を紹介された。「会のシメ」として校歌と応援歌（翠巒というもの）²では卒業した年代に関わらず、皆が肩を組み、それを歌った。会の後では、そこで知り合った先輩の方に就職活動の相談を行ってもらう機会もあった。他の高校の出身の者に聞くと「そんな機会はありません。」と皆、口を揃えて言う。

以上の体験をきっかけに「同窓会」という組織、特に母校である「高崎高校の同窓会」という組織に興味をもった。

本稿では「高崎高校の同窓会」の組織の成り立ち、特徴、その結束力の強さの源泉そして今後の同窓会の展望、これらを明らかにしたい。

0-2. 仮説

高崎高校の同窓会組織は群馬県で二番目に古い高校同窓会組織である。同窓会は強固なソーシャル・キャピタルのもと、結束力を固め、日本の政治、経済、教育、文化等、様々な分野において社会に貢献する人材を輩出し続けている。

0-3. 研究対象/方法

<研究対象>

研究対象は「群馬県立高崎高等学校の同窓会」とする。また、比較対象として「群馬県立前橋高校（以下前橋高校）」、「群馬県立太田高校（以下太田高校）」の同窓会、「群馬県立富岡高校（以下富岡高校）」を挙げる。前橋高校、太田高校、富岡高校の同窓会を比較対象として挙げる理由は同じ尋常中学の起源を組む高校である点、そして前橋高校に限っては定期戦をはじめさまざまな交流が見られる点があるためである。

<調査方法>

高崎高校の同窓会研究では百年史、同窓会名簿を中心に文献調査を行う。比較対象の研究では福岡県立修猷館高校や前橋高校の同窓会組織を参考に行っていく。

また、筆者は高崎高校出身であるが、解釈が自己の背景、経験などによって偏ったものになりうる点³に注意しながら行う。

【脚注・参考文献】

¹ 主な出席者には元 TBS のプロデューサー・堀川とんこう氏、当時衆議院議員（現文部科学省大臣）の下村博文氏、DOWA HD 相談役の吉川廣和氏などがいた。（出席者名簿より）

² 校歌は昭和 32 年 9 月 3 日制定、翠巒は大正 8 年ごろに誕生した。高崎高校百年史 p131,358

³ 回想記の類いは記憶違いや事実誤認、自己弁護などが混じり、信憑性に欠けるので歴史学者

0-4. 先行研究/研究の意義/その限界

<先行研究/研究の意義>

先行研究は高校の同窓会・人脈研究では黄順姫の「同窓会の社会学」(福岡県立修猷館高校など九州地区の旧制中学の歴史の流れを組みかつ偏差値の高い高校を取り上げている)や鈴木隆祐の「名門高校人脈」がある。(後者では対象校の高崎高校、前橋高校も取り上げられている)。また、高校生の進路を分析した研究ではブリントンの「失われた場を探して」がある。しかし、高崎高校同窓会に焦点をしばった研究、そしてその社会意義についてまとめたものはない。また、黄の研究とは違い、「群馬県」や「高崎市」、「そこに属する企業の状況」のような地域経済の観点も含めた同窓会分析も行った。以上に本稿の研究の意義がある。

<限界>

・高崎高校同窓会名簿に関して

高崎高校同窓会名簿は同窓会に属する者だけが入手できるものである。明治35年の卒業生から平成24年の卒業生まで住所、出身大学、勤務先の記載がある。しかし、情報公開希望者のみの記載となっており、また、物故者に関してはそれら記載がない。よって完全に卒業生個人全員の進路を把握することは限界である。(しかし、全体的なその傾向をつかむことは可能である。)

なお、個人情報に関するものなので著名人以外のその公開は避けるものとする。(もちろん著名人であっても現住所などの公開は避ける。)

・その他の同窓会組織に関して

その他高校の同窓会組織の関連書物は高崎高校同様に、同窓会に属する者だけが入手できるものとなっている。よってHPなどで一般に公開されている以外の情報に関しては入手が困難である。

1章:高崎高校同窓会について

1-0.序

本章では研究対象である高崎高校同窓会の概略、歴史、組織について述べる

1-1.高崎高校の概略

ここでは高崎高校の概略について述べる。⁴

高崎高校は高崎市にある公立校。全日制と通信制があり前者は男子校、後者は男女共学である。学科は普通科のみである。愛称は「高高(たかたか)」。教育目標は①3F精神(ファイティ

は自身の研究と公的資料とつきあわせるのが普通である。小熊英二,2009,『1968』新曜社 p18
⁴ wikipedia (2013.9.28 取得)<http://ja.wikipedia.org/wiki/群馬県立高崎高等学校や群馬県高等学校体育連盟> HP(2-13.9.28 取得)<http://gunma-koutairen.com/>や鈴木隆祐,2005,『名門高校人脈』光文社 p78-82 より作成

ングスピリット、フェアプレー、フレンドシップ)に努め、文武両道を堅持する。②自己教育力を深め、豊かな人間性を形成する。③文化・科学・スポーツ等を通じて、国家・社会・人類に貢献する高い志を養う。

偏差値は68程度⁵、群馬では前橋高校と一、二を争う進学校である。部活動も盛んであり、野球部は春のセンバツに2回出場(1981年、2012年)、ラグビー部は国体2度優勝・花園3位などの実績が過去にある。なお、群馬県高校総体では平成25年度は団体2位の成績である。

主な卒業生は福田赳夫(第67代内閣総理大臣)中曽根康弘(第71・72・73代内閣総理大臣)土屋文明(歌人、文化勲章受章者)、蠟山政道(政治学者、元お茶の水女子大学学長)平田正(協和発酵工業会長、前社長)吉川廣和(DOWAホールディングス会長)山田かまち(詩人、画家※在学中にエレキギターによる感電で死亡)真下昇(日本ラグビーフットボール協会副会長・専務理事)清水善造(元プロテニスプレーヤー)田島創志(プロゴルファー)山口薫(洋画家)布施英利(批評家、東京芸術大学准教授)、堀川とんこう(『千年の恋 光源氏物語』で知られる映画監督)丸茂重貞(元環境庁長官)上野公成(元参議院議員、内閣官房副長官)山本富雄(元農林水産大臣、山本一太参議院議員の父)大河原太郎(元農林水産大臣)岸暁(元東京三菱銀行頭取、元全国銀行協会会長)塚田佳男(音楽家)瀬間正之(上智大学教授)佐藤良明(アメリカ文学者、東京大学大学院総合文化研究科教授)(仙波憲一 青山学院大学教授、学長)吉田恭三(元群馬銀行頭取)大木紀元(デザイナー)下村博文(文部科学大臣 元内閣官房副長官 衆議院議員)三輪八郎(元阪神タイガースピッチャー)堀越正美(東京大学准教授)田中金司(神戸大学教授)岸昭雄(静岡県立大学講師)、中町公祐(プロサッカー選手)、神保謙(慶應義塾大学総合政策学部准教授)など。以上から、政治、経済、教育、文化等幅広い分野に卒業生を輩出しているのがわかるが、特に自民党政治家(保守系)が多いのが特徴的である。

1-2.高崎高校同窓会の歴史

<高崎高校は前橋高校の分校からのスタートだった。>

歴史を見ていくが、高崎高校同窓会の歴史の前に、まず、群馬県の尋常中学校の成立過程を整理する。

明治10年、前橋市に公立中学校を設立し、東京大学区第17番中学利根川学校と称し、創立。これが後の前橋高校である。明治12年群馬県中学校と称し、その1年後、開校式を挙行。明治19年に、中学校令発布に基づき、群馬県尋常中学校と称する。明治30年に、高崎、甘楽(現:

⁵ 高校偏差値ナビ(2013.9.28 取得) <http://www.sconavi.com/fukuoka/1689/>

群馬県立富岡高校)、碓氷、利根、新田(現:群馬県立太田高校)、多野の6分校を置く⁶。この高崎分校が後の高崎高校である。

<高崎高校の同窓会組織は明治36年成立>

次に同窓会の成立時期を明らかにする。

高崎高校は明治30年、群馬県尋常中学校群馬分校と称し、高崎の長松寺に仮校舎を設置し、創立。翌明治31年に上和田町に移転し、明治33年より群馬分校から独立し、群馬県高崎中学となる。明治35年には第一回の卒業証書授与式が行われ、その1年後の明治36年には第1、2回の卒業生により同窓会が結成される。⁷

前橋高校の同窓会組織は、前中・前高同窓会HPによると明治44年の創立である。⁸そして、太田高校同窓会は明治35年創立。富岡高校は同窓会組織のHPや成立年などの詳細は管見の限り見当たらなかった。⁹なお群馬県において上記高校以外に古いものも同様に見当たらなかった。

以上より、高崎高校の同窓会組織は群馬県で二番目に古いといえる。

1-3.高崎高校同窓会の組織全体像

最後に組織の全体像である。本部の他にもいくつかの同窓会組織が存在する。

<本部>

本部は正会員(卒業生およびかつて在学した者)、客員(現に在職する職員および旧職員)、名誉会員(本会および母校に功績があり、本会により推薦された者)によって構成される。役職は名誉顧問、顧問、会長、副会長、書記、会計、監査、本部幹事長、本部幹事、常任理事、理事がある。会長や副会長は総会において選出される。その他は会長が委嘱する。なお役員の任期は3年である。会の運営は入会金や維持会費によってまかなわれる。

名誉顧問には中曽根康弘氏(35期)、顧問には元校長など、常任理事には政治家の上野公成氏(57期)や高崎市長の富岡賢治氏(64期)、監査には本校卒の公認会計士、税理士などの者がそれぞれついている。一番若い者は理事の95期の者である。

⁶ 群馬県立前橋高等学校 HP(2013.8.30 取得)<http://www.maebashi-hs.gsn.ed.jp/>

⁷ 7月25日、午後1時より開催。かつての分校主任、校長ならびに在職の教員、卒業生30名の参加であった。また、資料1のような簡単な規則が定められた。その後、明治41年7月19日、明治42年7月25日、大正6年9月2日に改正。新制群馬県立高崎高等学校発足後は昭和49年2月2日、昭和56年1月24日、昭和57年1月23日、昭和59年1月28日、昭和63年1月23日に改正。なお現在の会則は平成17年1月22日に改正されたものである。以上、高崎高校同窓会会員名簿の沿革・高崎高校100年史 p39,p65,p69,p117より

⁸ 前中・前高同窓会 On Line(2013.8.30 取得)<http://www8.wind.ne.jp/maetaka-ob/aisatu/kaicho.htm>

⁹ 群馬県立太田高等学校 HP(2013.8.30 取得)<http://www.ota-hs.gsn.ed.jp/enkaku/enkaku.htm>

昭和 27 年より同窓会報が発行され、年に数度、会員のそれぞれの住所に配送される。¹⁰

<東京同窓会>

高崎高校同窓会は本部だけでなく、東京同窓会¹¹、関西同窓会、通信制¹²の同窓会が存在する。本部同様にそれぞれ、顧問、会長、副会長、幹事長、副幹事長、会計、書記、常任幹事の役割がある。東京同窓会の役員は首都圏近郊に勤める卒業生、関西同窓会の役員は関西近郊に勤める卒業生が多い。

<翠巒体育会>

翠巒体育会¹³とは、運動部 OB の組織である。陸上競技部、卓球部、軟式庭球部、バスケット部、バレーボール部、ラグビー部、サッカー部、水泳部、剣道部、サッカー部、水泳部、剣道部、柔道部、野球部、応援部、硬式テニス部、山岳部の運動部から成る。

全体としては¹⁴会長、副会長、会計、監査、理事、顧問・参与の役割があり、各運動部の後援や親睦を図る。会長と副会長は理事会の推薦と総会において決定され、その他は会長が委嘱する。

毎年 1 回、6 月に総会を開催し、予算や活動報告、役員を選定等を行う。役員任期は 2 年。会費と寄付金によってまかなわれる。¹⁵

2 章:高崎高校卒業生の進路

2-0.序

本章では卒業生名簿の分析を通して明らかになったことをまとめる。図の 1~5 は大学進学状

¹⁰ 以上同窓会会則より

¹¹ 明治 36 年、京浜地区において実社会で活躍している卒業生や勉学に励む人たちが、母校を思慕して「高陽会」を設立。具体的な記述がないが、これが起源と推測される。その後、しばらく中断するも昭和 2 年 10 月 29 日に京浜高中会が再発足。太平洋戦争時の混乱で自然消滅するものの、昭和 27 年 3 月 14 日再発足。高崎高校百年史 p39,p186,p358

¹² 昭和 18 年に昼間働く物に勉学の機会を与えようと設立された高陽中学(後に高崎市立高校)。これが定時制の起源である。戦後の学制改革で高崎高校課程となり、昭和 46 年に定時制(高崎市立高校)閉校。一方、昭和 23 年に通信制が発足。当時は、科目単位の都合上、定時制と通信制の二重在籍者が多かった。全科目の完全実施が通信制でなされたため、定時制が閉校となった。なお、通信制同窓会は昭和 56 年 8 月 30 日創立 高崎高校百年史 p349,p417

¹³ 具体的な記述がないが、交友会規則・運動部規定が起源と推測される。これは高崎中学時代の明治 38 年 11 月 30 日に交友会役員総会にて定められる。その後、明治 40 年 10 月 10 日に運動部の内規が改定。新制群馬県立高崎高校発足後の昭和 49 年 5 月 15 日、翠巒体育会が創立。高崎高校百年史 p49,p60,p430

¹⁴ 陸上競技部やラグビー部などは HP が整備され、活動内容が逐一報告されている。それぞれ定期総会の時期はまちまちである。応援部や水泳部などは公式 HP がなく、活動状況が不明である。

¹⁵ 高崎高校 翠巒体育会 HP(2013.8.31 取得) <http://www5.wind.ne.jp/t2suiran/>

況を表したもの。図の A~C は就職先を表したものである。

図 1.1970 年代進路(大学)

東大	1.7	60
京大	0.3	10
一橋+東工大	2	71
上記以外旧帝	4.1	146
早稲田	5.4	192
慶応	4.5	160
MARCH+東理大	13.2	470
群大+高経大	9.1	324
海外	0.2	7
短大	0.7	24
その他	58.8	2097
計	100(%)	3561(人)

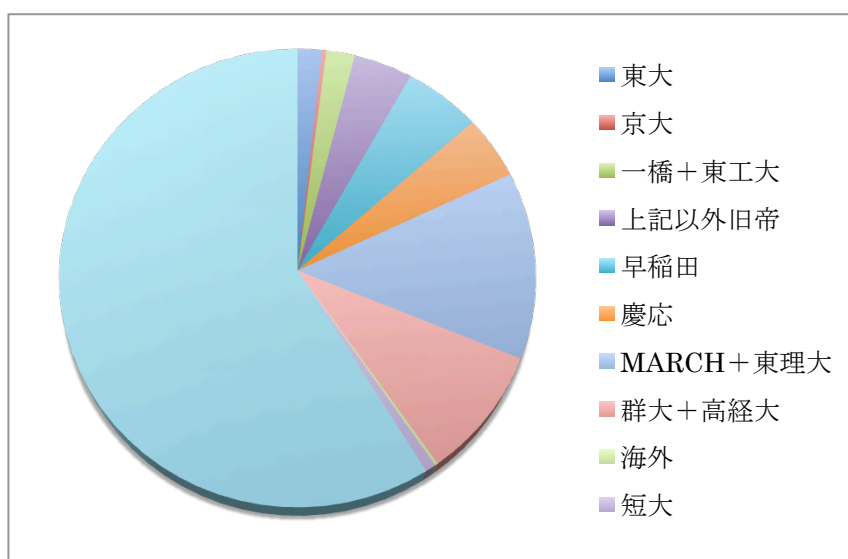


図 2.1980 年代進路(大学)

東大	1.2	45
京大	0.8	30
一橋+東工大	1.4	53
上記以外旧帝	5.4	203
早稲田	5.1	191

慶応	2.4	90
MARCH+東理大	15	563
群大+高経大	16	601
海外	0.4	15
短大	0.1	4
その他	52.2	1961
計	100(%)	3756(人)

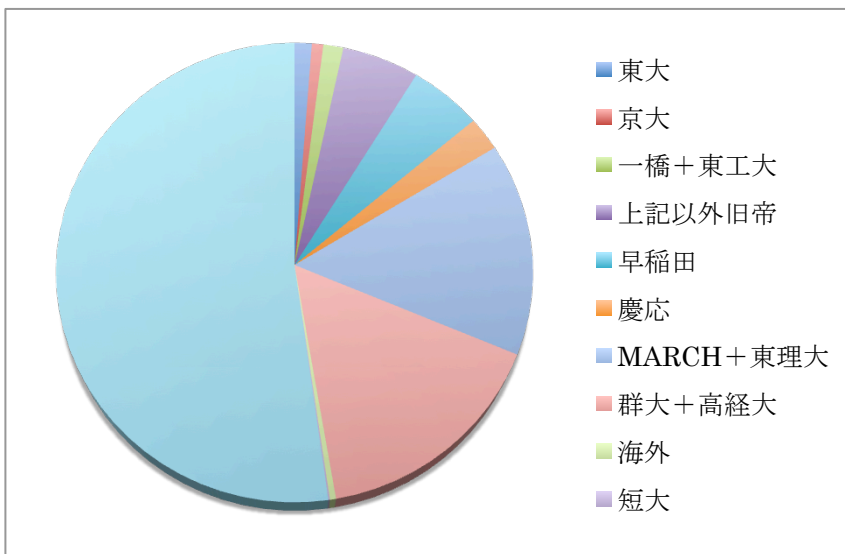


図 3.1990 年代進路(大学)

東大	2.4	89
京大	0.7	26
一橋+東工大	1.9	70
上記以外旧帝	6.1	226
早稲田	5.8	215
慶応	4.4	163
MARCH+東理大	13	482
群大+高経大	9	334
海外	0.2	7
短大	0.1	4
その他	56.4	2092
計	100(%)	3708(人)

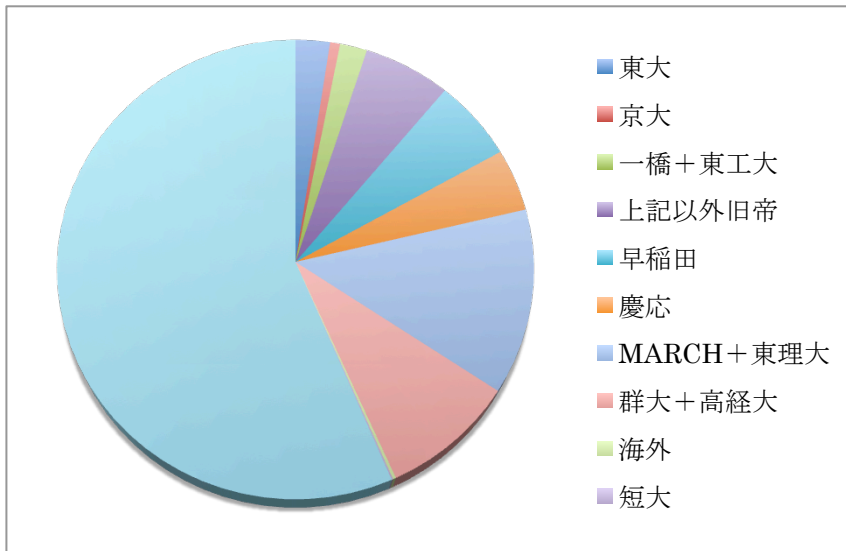


図 4.2000 年代進路(大学)※8 年分

東大	3.3	77
京大	0.9	21
一橋+東工大	2.6	61
上記以外旧帝	6.3	147
早稲田	5.7	133
慶応	5.5	128
MARCH+東理大	11.3	265
群大+高経大	6.9	163
海外	0.3	7
短大	0.1	2
その他	57.1	1337
計	100(%)	2341(人)

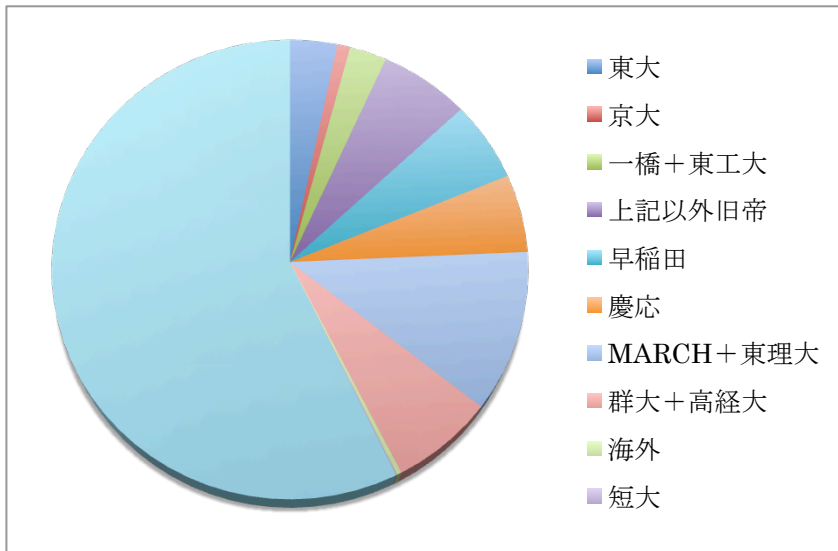


図 5 . 各大学群の進学率の推移

	1970年代	1980年代	1990年代	2000年代
東大	1.7	1.2	2.4	3.3
難関国公立(東大京大一橋 東工旧帝国)	8.1	8.8	11.1	13.1
早慶	9.9	7.5	10.2	11.2
群大、高経大	9.1	16	9	6.9

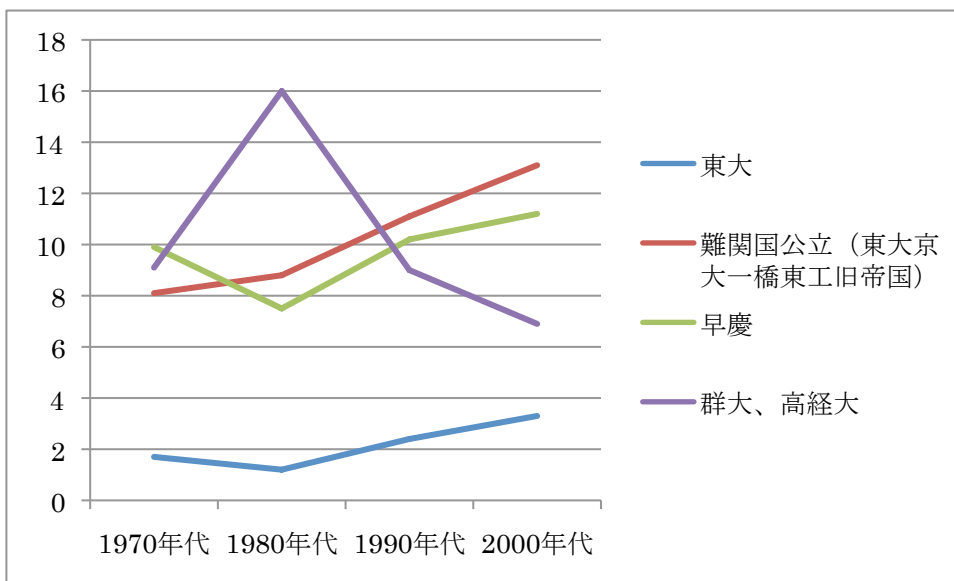
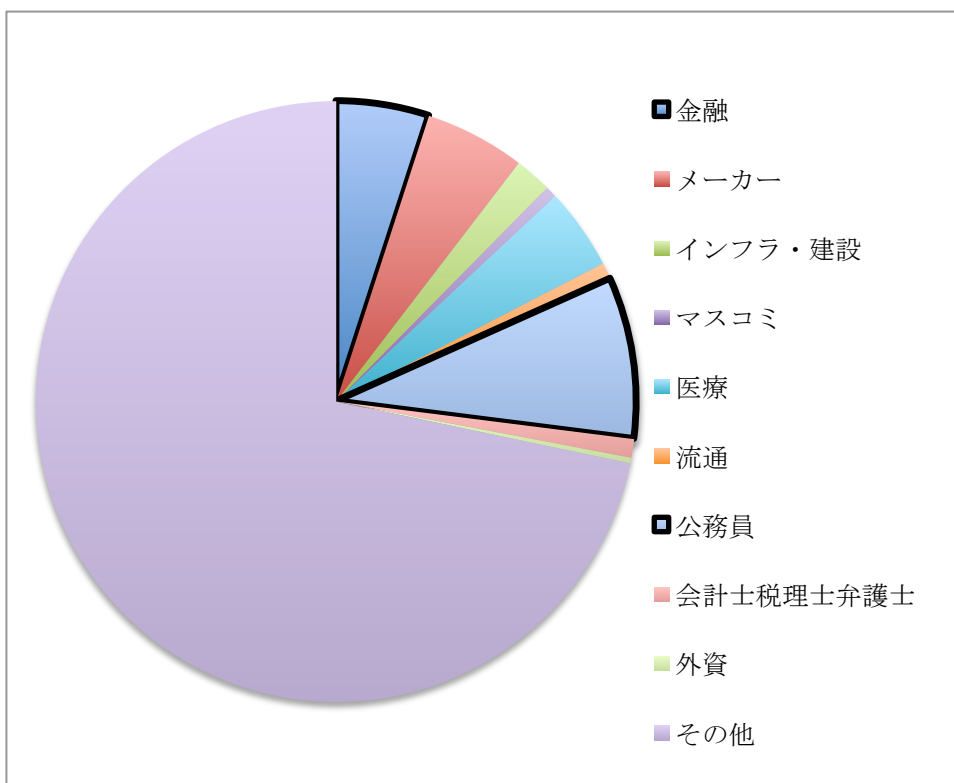


図 A.1970 年代進路(大学)

金融	5	173
メーカー	5.4	187
インフラ・建設	2	69
マスコミ	0.6	21
医療	4.4	153
流通	0.9	31
公務員	8.7	302
会計士税理士弁護士	1	35
外資	0.3	10
その他	71.7	2485
計	100(%)	3466(人)



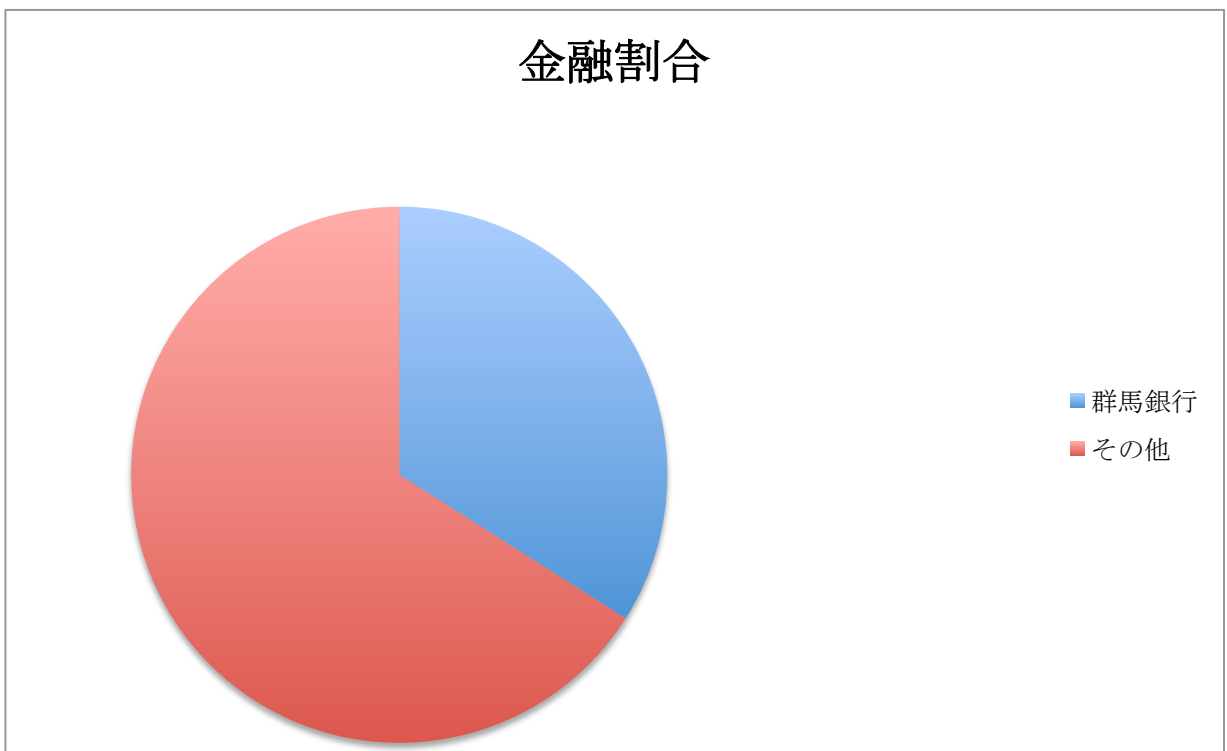
※1

金融割合

群馬銀行

34% 1.7%=59(人)

その他	66%	
※2		
公務員割合	10%	0.9%=31(人)
		4.9%=170
内群馬県庁	56%	(人)
内公立校教員	34%	
その他		



公務員割合

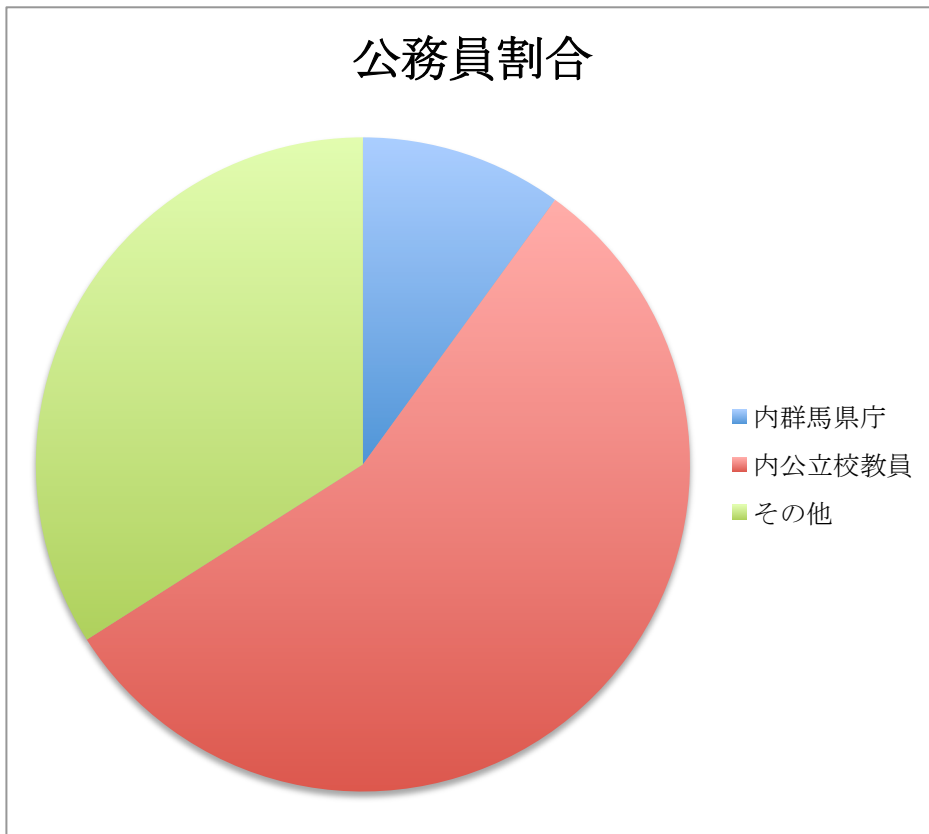
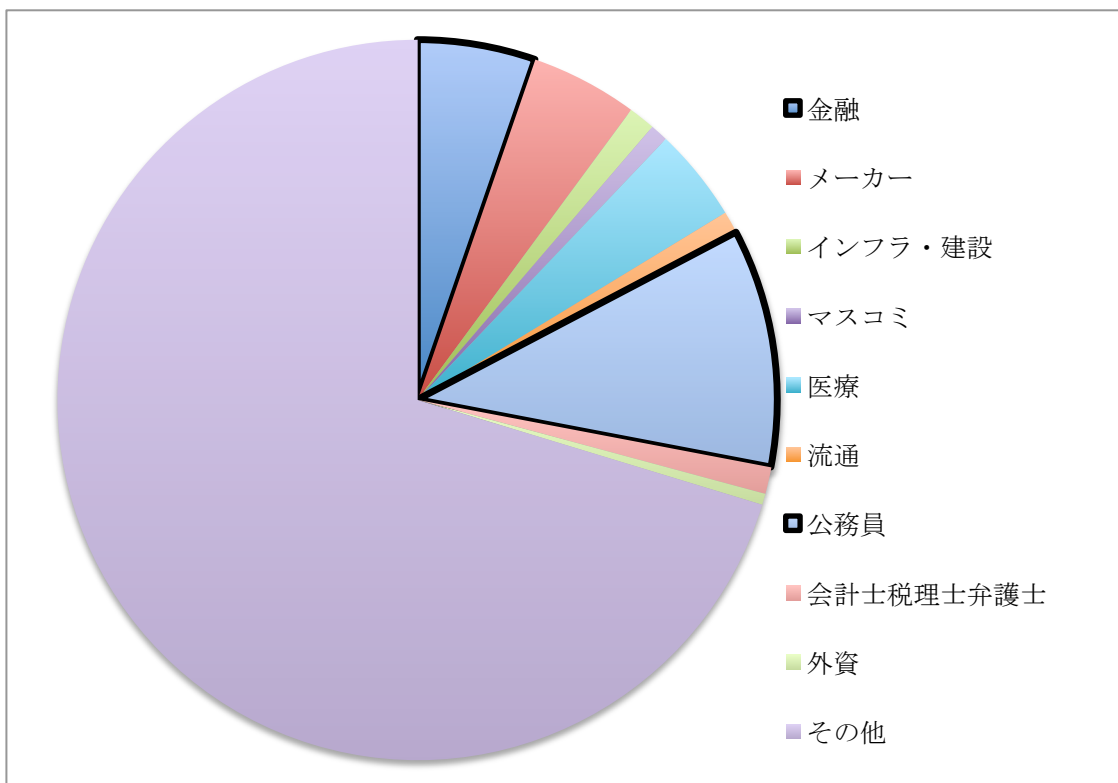


図 B.1980 年代進路(大学)

金融	5.3	173
メーカー	4.8	156
インフラ・建設	1.2	39
マスコミ	0.8	26
医療	4.2	137
流通	1	33
公務員	10.7	349
会計士税理士弁護士	1.2	39
外資	0.5	16
その他	70.3	2291
計	100(%)	3259(人)



※1

金融割合

群馬銀行 51% 2.7%=88人

その他 49%

※2

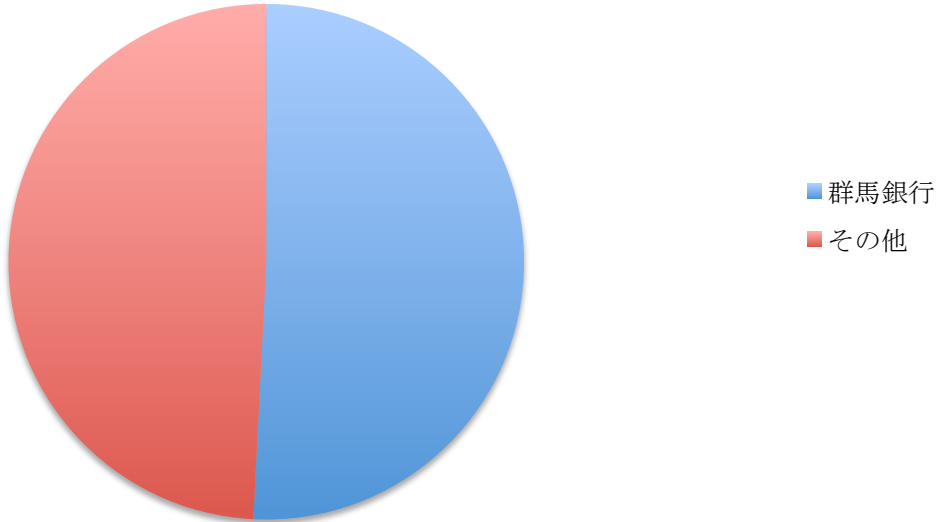
公務員割合

内群馬県庁 13% 1.4%=46人

内公立校教員 65% 7%=228人

その他 22%

金融割合



公務員割合

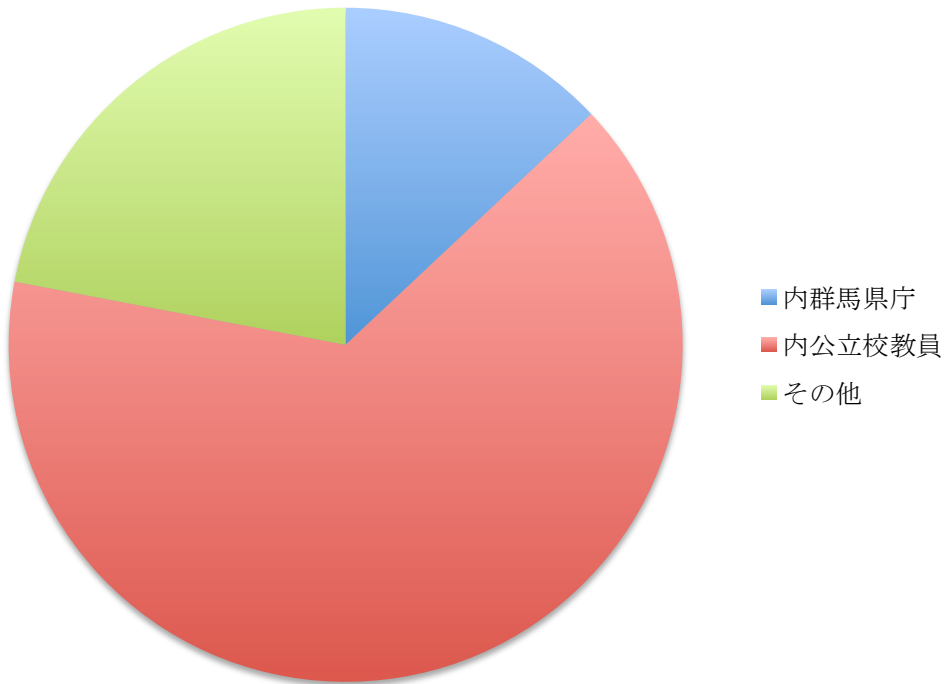
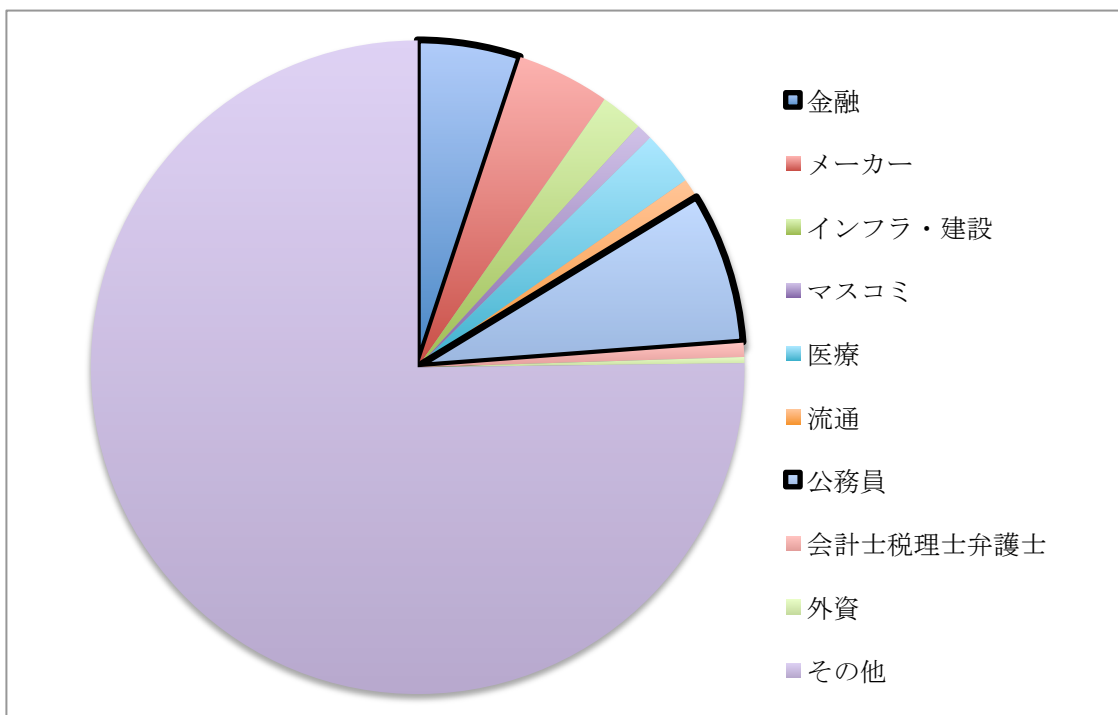


図 C.1990 年代進路（大学）※8 年分

金融	5.1	130
メーカー	4.6	118
インフラ・建設	2.1	54
マスコミ	0.8	20
医療	2.7	69
流通	1	26
公務員	7.5	192
会計士税理士弁護士	0.7	18
外資	0.3	8
その他	75.2	1921
計	100(%)	2556



※1

金融割合

群馬銀行

17% 2.3%=22 人

その他 83%

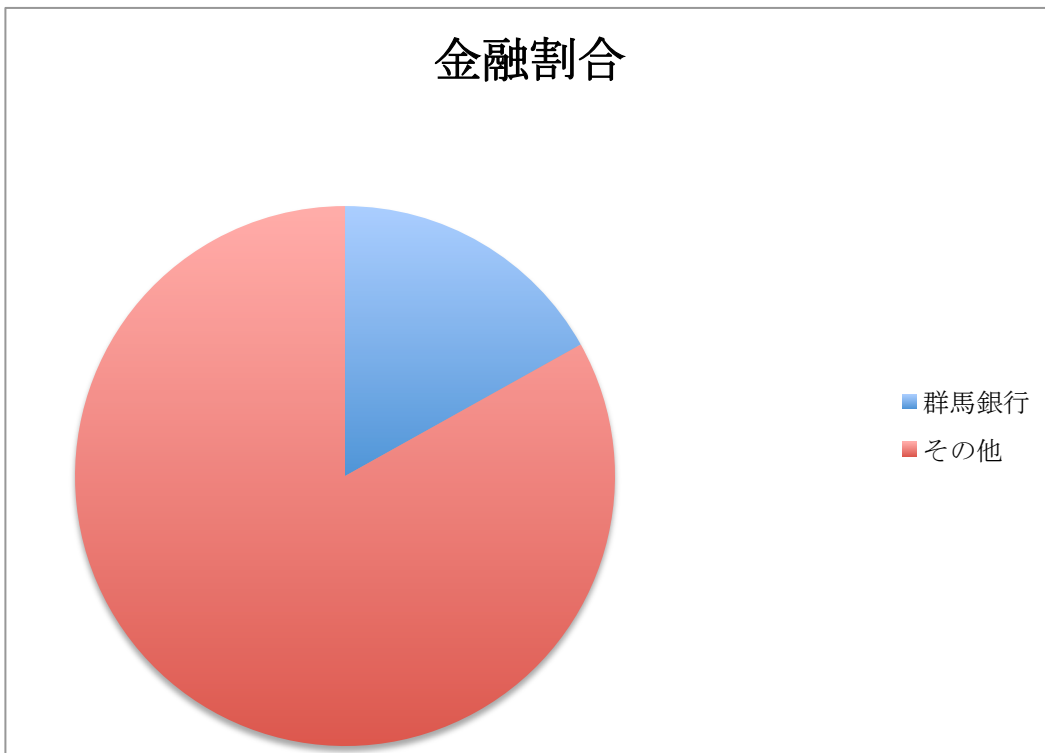
※2

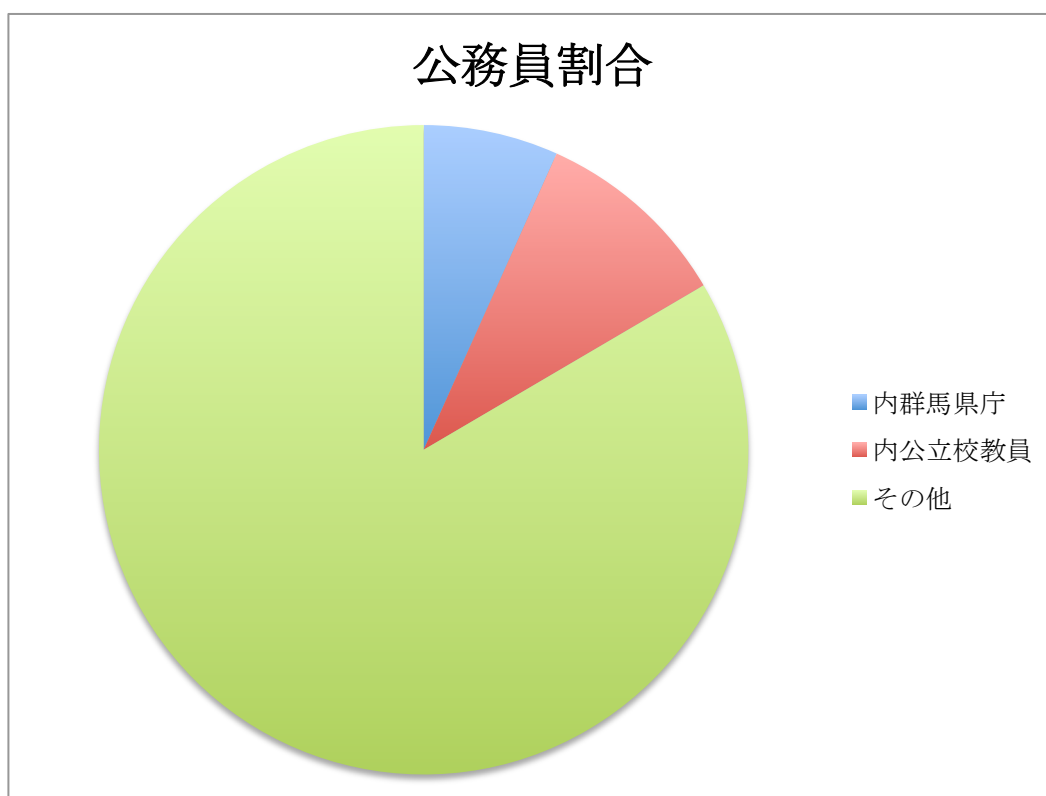
公務員割合

内群馬県庁 7% 1.3%=13人

内公立校教員 10% 2%=19人

その他 83%





2-1. 大学進学状況

図からは以下のことが読み取れる。

- ・どの年代も全体的に99%以上4年制大学に進学している。
- ・難関国公立、早慶の進学が増えてきている。
- ・短大・専門の比率は1970年から減少し、0.1%の低い水準である。

2-2. 大学進学状況の分析

卒業生名簿の分析からは1970年代から高い大学進学率であることがわかった。その原因をまず、マクロ的に分析していく。

<4年制大学への高い進学率-高度経済成長と進学率の上昇->

1960年に池田内閣が「所得倍増計画」¹⁶を決定して以降本格化した。¹⁷所得倍増計画とともに、人材育成政策も行われる。そこでは、「倍増計画期間内においておよそ17万人の科学技術者の不足が見込まれるので、理工学系大学の定員について早急に具体的な増加計画を確立すべきである」とうたわれていた。さらに1960年秋には、61年度から全国すべての中学2,3年生全員(い

¹⁶ 池田内閣の下で策定された長期経済計画。この計画では1961年からの10年間に名目国民所得を26兆円に倍増させることを目標に掲げた。国立国会図書館リサーチナビ2012.10.4取得 <http://rnavi.ndl.go.jp/politics/entry/bib01354.php>

¹⁷ 小熊英二,2009,『1968』新曜社 p25

わゆる「団塊の世代」)を対象に、文部省が作成した「学力テスト」を実施することが発表された。しかし、各都道府県の教育委員会が全国一の平均点を目指すため、テスト実施日に学力の低い生徒をわざと欠席させたり、教師が回答を事前に教えたり、カンニングが黙認されるなどの手段で、平均点を上げている問題が発生。それにより全国统一学力テストは廃止されたが、テストによる生徒の選別を定着させる契機となった。¹⁸

オイルショックとベトナム戦争の終結(1975年)による国際経済の変化によって高度経済成長から、低成長に転ずると、社会全体が緊縮を求められる。それによって慢性的就職難の傾向が続く。不況になれば就職状況は厳しくなり、企業の指定校制にみられる学校歴偏重が顕在化する。この間、受験産業は急成長し、偏差値による大学のランクづけが進む。特に、1979年の共通一次試験は、大学の偏差値序列を固定化させたのである。¹⁹

大学・短大進学率は、1960年の10.3%から、65年には17.0%、70年には23.6%75年には37.8%まで上昇する。親たちは高度成長で得た資金で、児童を少しでも上級の名門校に通わせようとし、進学塾やテスト産業が急激に発達した様子が見られる。

<1980年代以降も高まる、進学熱>

ところで、教育社会学では高等教育への進学率が15%を超えると高等教育はエリート段階からマス段階へ移行するとされる²⁰。以上から1960年代になって、受験は人生のコースの不可欠の要素となったといえるが²¹この傾向は、1980年代以降も続く。

大学への進学率は、1985年は30.5%だった、しかし、1991年は31.7%、1996年度から40%台へ、そして2007年度より50%を超え、2010年度には54%が達成される。

当然の流れとして、高崎高校はそういった背景から進学対策に力を入れてきた。具体的な取り組みとしては一コマ100分×2の土曜補習、夏期補習、(主に成績不良者に対する)早朝補習・

¹⁸ 小熊英二,2009,『1968』新曜社 p43-44

¹⁹ 荒井明夫,佐貫浩,堀尾輝久,佐藤隆,田中孝彦,1996『日本の学校の50年(講座 学校)』柏書房 p226-227

²⁰ 社会学者 M.トロウの概念。高等教育の発展段階をエリート・マス・ユニバーサル段階の3つに分ける。当該年齢人口に占める学生の比率が15%までをエリート段階。15~20%までをマス段階。50%以上がユニバーサル段階。トロウによれば、これら3段階において高等教育は量的ばかりでなく質的な変容も遂げる(学生の選抜の仕方、学生の進学就学パターン、カリキュラム、教育方法など)。具体的には、例えば、エリート段階では高等教育の機会の一部の者の特権であり、そこでの機能は社会の支配層、専門職の養成。マス段階では進学は権利ととらえられ、ホワイトカラー職の養成が中心機能。ユニバーサル段階では進学は義務と考えられ、良識ある市民の育成が重要な役割となる。柴野昌山,菊池城司,竹内洋 1992『教育社会学』有斐閣ブックス p225

²¹ 留意しなければならないのはこうした状況をマスレベルで経験したのは、彼らの世代(1962年くらいの子供)が初めてだったことである。…1960年代になって、受験は人生のコースの不可欠の要素となった。小熊英二,2009,『1968』新曜社 p48

放課後補習が行われている。三年夏には希望者に対して学習合宿も行う。自習室も8時から21時まで利用可能である。他にも入学者選抜方式（推薦入試の変更、前期試験においては総合問題入試導入）・入学者数の調整などもおこなっている。

<同窓会による進学指導>

マクロ的な背景はもちろん、ミクロ的な分析からも高崎高校の大学進学率の高さは分析できる。具体的な例としては同窓会がある。

同窓会報には必ず毎年、大学合格実績が載る。「国公立〇〇名、私立大学〇〇名など」という漠然としたものではなく、「東大〇〇名、京大〇〇名…」など具体的な大学名の合格者数が載る。また、写真 2-1, 2-2 の冊子のように毎年受験状況が進路指導教員を中心にまとめられ、その年卒業した各生徒の学校での模試成績、センター試験の点数、受験校、そしてその結果が載る。

さらには、東大現役合格者数が1名と激減した2013年、卒業生から心配の声が手紙やメールで寄せられることもある。²²

上記のような取り組みの成果・効果もあってか、平成6年の大学入試では現役合格率79.2%、平成19年には95.3%を達成する。²³

以上から学校や同窓会による進学指導が高崎高校の進学実績を上げているとも考えられる。

写真 1. 会報



写真 2-1. 冊子



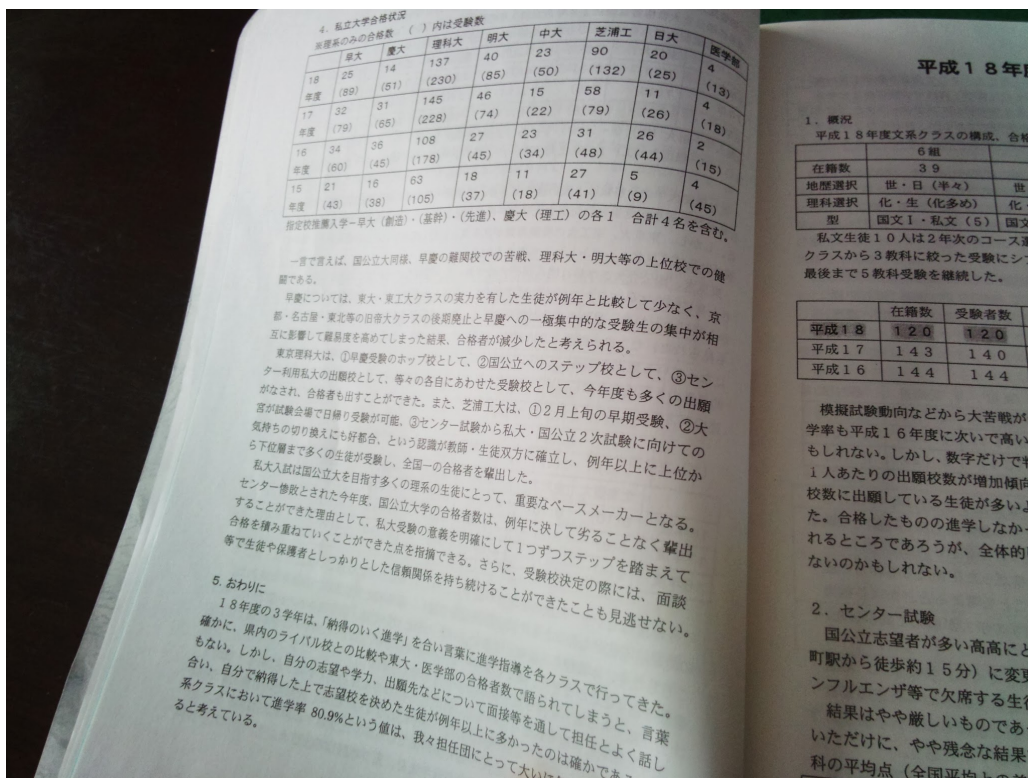
²² 2013.1.26 読売新聞

http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/gunma/feature/maebashi1358259179553_02/news/20130126-OYT8T00190.htm

²³ 高崎高校百年史 p545、高崎高校 HP(2013.8.31 取得)

<http://www.takasaki-hs.gsn.ed.jp/sinro.html>

写真 2-2.冊子（内容）※なお、卒業した各生徒の学校での模試成績、センター試験の点数、受験校、そしてその結果は個人情報観点から掲載を省略する。



2-3.就職状況

上記からは 99%の生徒が大学へ進学していることがわかった。では大学（院）卒業後の進路はどうだろうか？図からは以下のことがわかった。

- ・どの年代も公務員の割合が多い。1980年代までは、その中でも公立校教員の割合が大きな比重を占めている。
- ・金融就職者の群馬銀行の割合が非常に多い。1980年代では半数以上を占める。

2-4.就職状況の分析

高崎高校の場合、高校卒業後、大学（院）→就職（特に公務員や群馬銀行の割合が大きいのが特徴的）であることが卒業生名簿の分析の結果、わかった。そのような結果が現れるのは同窓会の影響が大きいものと推測している。

<同窓会と就職・ビジネス>

黄順姫の「同窓会の社会学」では福岡県立修猷館高校（以下修猷館高校）の同窓会を研究対

象とし、インタビュー・文献調査からその性質などがまとめられている。修猷館高校²⁴は全日制の公立校であり、福岡県でも1,2を争う進学校（偏差値は74程度）²⁵。主な卒業生に廣田弘毅（第32代内閣総理大臣）金子堅太郎・（大日本帝国憲法起草 伊藤内閣農商務大臣・司法大臣 枢密顧問官 日本法律学校現・日本大学創立・初代校長 従一位大勲位菊花大綬章）はじめ、箱島信一（朝日新聞社社長）など多くの卒業生がいる。校風は藩校以来の歴史を組んでおり、自由闊達・自主独立の校風である。同窓会組織についてであるが、明治35年に同窓会雑誌が発行され、大正7年に制度が設けられて以来、活動が盛んである。以上をふまえると男女共学という点以外は本稿の研究対象である高崎高校同窓会組織に似ている。

黄はインタビューでとある卒業生の男性にインタビューを行っている。インタビューでは男性は以下のように答えている。

「全然会ったことのない人だったり、先輩・後輩だったりしても、『あなたも修猷館ですか』という話から商売気抜きで、『君に頼むよ』となったりする。『君だったら本音を話して情報を話そう』というところまで許してしまう。だから理屈ではない部分が同窓会というのはあるのではないか。修猷館で育った人間だったら安心感がある。」²⁶

以上のケースからもわかるように、就職やビジネスにおいては、同窓会という「場」が機能している様子が読み取れる。実際、2010年11月のプレジデントファミリーでは「『各地域の名門高校出身者は高校の同窓が地域の企業や役所で重要な地位を占めていることが多いこと』を踏まえ、その『人脈』を評価し、人事マンは就職活動の採用時に応募者の出身高校をチェックする」という記事があるくらいだ。²⁷

以下2章－5からは一般的な高校の比較を通し、同窓会という「場」の機能の特徴をあぶりだし、3章からは明確にそれをまとめていく。

2－5.一般的な高校の就職ルートとの比較

高崎高校の場合、高校卒業後、大学（院）→就職（特に公務員や群馬銀行の割合が大きいのが特徴的）であることが卒業生名簿の分析の結果わかった。それは高崎高校特有のものとは私は考えている。そこで本章では他の一般的な高校との比較を通し、それを明らかにする。

²⁴ wikipedia (2013.9.28取得)<http://ja.wikipedia.org/wiki/福岡県立修猷館高校>や鈴木隆祐,2005,『名門高校人脈』光文社p265-266、修猷館同窓会HP(2013.9.28取得)<http://www.shuyukan-dosokai.com/index.php/aboutd/history> などより作成

²⁵高校偏差値ナビ(2013.9.28取得) <http://www.sconavi.com/fukuoka/1689/>

²⁶ 黄順姫,2007,『同窓会の社会学』世界思想社 p133

²⁷ 大多数の企業は出身高校をチェックしないが、「同じような大学からあと一人採らなければならない」ような時は出身高校をチェックするようだ。2010.11 プレジデントファミリー『成績が伸びるノート、伸びないノート』p116

なお、一般的な高校に関してはブリントンの『失われた場を探して』を参考にまとめたい。

<一般的な高校の就職ルート>

一般的な高校(※ここではブリントンの定義同様、学力レベルが平均以下の非進学校と定義する)の場合、高校卒業後、そのまま就職するパターンが普通である。ここで特徴的なのは「一人一社制」という慣行である。

高校は生徒一人に対して一社に限って推薦をおこなうものとされていたので、企業は面接の時間を大幅に省ける点。後輩社員が職場にとけ込みやすくなる(社員の定着率が高める)ため、同じ高校の出身者を継続して採用することが効率的である点。このようなメリットがある。

具体的な事例としては、三重県立亀山高校からシャープへの地元工場の就職があげられる。²⁸

このように日本では教育レベルの低い男性でもそれなりに安定した就職先を見つけられ、それを後押しする独特の仕組みが機能している。日本の若者は、学校という「場」の助けのもと、仕事の「場」にすんなり移行(トランジション)できる。学校を卒業する前の若者は学校という「場」に帰属できたし、学校を卒業した後は会社という「場」に帰属できるのである。²⁹

<ロスト・イン・トランジション・崩壊していく場>

しかし、「労働人口の教育水準が高まったこと」そして「脱工業化社会における製造現場の雇用減少」。これらが原因で高卒者の雇用はもちろん、大卒者と非大卒者の所得格差も生じているとブリントンは述べる。つまり、社会の「あたりまえ」に従ってさえいけばほとんどの若者が安定した「場」の一員になれた社会から、そういう標準コースのない社会へと移行するなかで、学校から仕事の世界へ、そして大人の世界への移行の途中で行き先を失ってしまう若者たち(ロスト・イン・トランジション)がでてきてしまっている。³⁰

<高崎高校同窓会の強い存在理由と就職>

上記の内容はいずれも一般的な高校の内容である。高崎高校の場合、99%の生徒が大学へ進学し、そこから就職している状況もふまえると、完全に比較はできない。

しかし、この比較を通し、浮かび上がってくる事実が一つある。それは高崎高校には「ロスト・イン・トランジション」のケースが当てはまらないことである。言い換えれば、「脱工業化

²⁸亀山工場を構えるシャープが亀山高校から毎年7人前後を採用している。

日本経済新聞 2012. 7.6 <http://www.nikkei.com/news/topic/article/?uah=DF130720128340>
ほかにもブリントンは工業高校主新車の就職ルートが比較的安定していることを指摘している。
ブリントン,2008,『失われた場を探して』NTT出版 p191

²⁹ブリントン,2008,『失われた場を探して』NTT出版 p51

³⁰ブリントン,2008,『失われた場を探して』NTT出版 p107-109,p187-p189 1990年代、製造業の工場は賃金の水準が著しい新興国に向上を移すようになった。その結果、製造業の雇用が高度成長期に比べ大幅に減少した。なお、上記の亀山高校も2012年のシャープへの採用は2人に減少している。

社会においても同窓会（人的資本や「場」）が機能しつづけていること」である。なぜ高崎高校の同窓会は存在しつづけていられるのであろうか？

次章ではこの「同窓会という『場』」を詳細に分析していく。

3章:同窓会の持続可能性

3-0.序

脱工業化社会においても同窓会が存在しつづけられているのはなぜか？本章ではソーシャル・キャピタル論を中心にそれを明らかにしたい。

3-1.ソーシャル・キャピタル

<ソーシャル・キャピタルと同窓会-信頼・規範・ネットワークの重要性->

パットナムの「哲学する民主主義」では、イタリアの地方政府の分析を踏まえ、政治パフォーマンスの高い地域には、それなりの伝統（＝ソーシャル・キャピタル）があり、結局のところそれがパフォーマンスを上げているという結論がなされている。

そのパットナムの定義を引用すると、ソーシャル・キャピタルとは「調整された諸活動を活発にすることによって社会の効率性を改善できる、信頼、規範、ネットワークといった社会組織の特徴」であるとされる。³¹さらに、「集合行為のジレンマ」のソフトな解決に役立つ、人々の間の自発的協調関係の成立をより促すような信頼・規範・ネットワークこそが、ソーシャル・キャピタルと呼ぶものとした。³²

ここでいう「集合行為のジレンマ」とは「各人が相手を裏切り、利益をフリーライドされるのを恐れ、結果、各人が協力しない現象」のことである。具体的にパットナムは「共有地の悲劇」や「外部不経済」などのゲーム理論³³を例として挙げ、説明する。なお、このような現象は悪意や人間嫌いから生まれるのではない。「自分が他者を信頼するのみならず、自分が他者によ

³¹ パットナム,2001,『哲学する民主主義-伝統と改革の市民的構造-』NTT出版 p206

³² 坂本治也,2010,『ソーシャル・キャピタルと活動する市民』有斐閣 p58

³³ いずれも経済学用語。また、いずれも他の人々の協調的行動を前提とすれば「ぬけがけ」(フリー・ライド)が有利になる特徴がある。

「共有地の悲劇」とは以下のようなものである。共有地は皆に解放されているものなので、放牧者が皆合理的であるならば、この共有地で可能な限り多くの牛を飼いたいと考える。人々は際限なく牛の数を増加させるシステムにはまり込んでしまう。結果、過放牧は共有資源の消尽を招く。

「外部不経済」とはある経済主体の行動が他の経済主体に直接に不利な影響を与えることである。例としては騒音や排ガスなど環境汚染や公害問題がある。市場における剤やサービスの購入によらずもたらされる新鮮な空気や水（公共財）は誰でも享受できる。そのような状況下では、皆がその公共財の提供に寄与しようとする要因(インセンティブ)を失い、結果、過剰な消費によって最終的には全員が損（公害を被る）をする。

以上はパットナムの文章や野口悠紀夫,1982,『公共経済学』日本評論社,マンキュー,2005,『マンキュー経済学ミクロ編』東洋経済新報社の文章などからまとめた。

って信頼されていると信じなければならない」という相互信頼の欠如(=ソーシャル・キャピタル)がこのような現象を引き起こす。パットナムは以上のように述べる。³⁴

同窓会ではそのようなソーシャル・キャピタルが形成されている。上記の黄の研究に取り上げられている同窓生の言葉に、「同窓生の誰かが理不尽なことをしたら、村八分になる」とある。政治家であれば、同窓のゼネコン、弁護士などのネットワークを使い、不正を働けるかもしれない。学生であれば、同窓の先輩から就職先を紹介してもらい、すぐ辞めてしまうこともできるかもしれない。しかし、同窓生のネットワークの中で、自己の利益だけを求める利己主義や、金銭的な背信の行為などを行う場合、信頼を失い仲間はずれになるのである。³⁵

3-2.ウィーク・タイズとストロング・タイズ

そのソーシャル・キャピタルにはいくつか種類がある。³⁶

<ウィーク・タイズ>

ウィーク・タイズとは「自分のしらない仕事の世界を知る友人との適度なつながり。そして働くのに必要かつ有効な知識やヒントを与える貴重な情報源」のことである。

この概念はアメリカの社会学者、マーク・グラノヴェッターの1973年の論文で発表された。この研究ではアメリカボストン郊外のある都市で専門職・技術者・管理職の男性282人に、どうやっていまの仕事に転職したかを尋ねた。すると、回答者の56%は知り合いを通じて仕事を見つけたと答え、しかもそのうちの8割近くは、非常に親しい関係にある人(ストロング・タイズ)ではなく、それほど親しくない知人(ウィーク・タイズ)を通じて新しい職場を見つけていたのである。³⁷

ところで、先述のロスト・イン・トランジションの打開策として、ブリントンは「ウィーク・タイズの強化と対人関係能力の向上」をあげている。学力レベルの低い普通高校では、昔に比べ、クラブ活動がほとんど行われていない場合が多い。故に、若者がまわりの人たち(特に、親と教師以外の大人)と関わりをもつ機会が減っている。これを踏まえブリントンはボランティア活動などを通し、脱工業化社会に必要な対人関係能力や責任感、それに基本的に必要な人

³⁴ パットナム,2001,『哲学する民主主義-伝統と改革の市民的構造-』NTT出版 p202

³⁵ 「同窓生の誰かが理不尽なことをしたら、村八分になります」という言葉が語るように、同窓生のネットワークの中で、自己の利益だけを求める利己主義や、金銭的な背信の行為などを行う場合、信頼を失い仲間はずれになる。彼らには合理的知識によって信頼をおく「根拠薄弱な帰納的知識」の信頼の原理が働くのである。黄順姫,2007,『同窓会の社会学』世界思想社 p149

³⁶ パットナムはソーシャル・キャピタルの種類として「ストロング・タイズ」と「ウィーク・タイズ」を取り上げたわけではないが、グラノヴェッターの言葉(「強い個人間の結合」=ストロング・タイズと「弱い結合」=ウィーク・タイズ)を引用し、ソーシャル・キャピタルについて説明している。

³⁷ ブリントン,2008,『失われた場を探して』NTT出版 p197

的資本（ウィークタイズ）を養うべきだと述べる。

<ウィーク・タイズとは異なる概念-ストロング・タイズ->

しかし、同窓会の「場」は「ウィーク・タイズ」とは異なる概念である。

ブリントンは前掲の著書で以下のことを述べる。「日本で最も大きな機能を担っている社会関係資本の種類は、アメリカと異なるようだ。アメリカではウィーク・タイズがものを言うのに対し、日本で大事なものは信頼できるストロング・タイズをもっていることのように見える。」³⁸ここでいう「ストロング・タイズ」とは学校と企業の結びつき(前述の「一人一社制」)のような「制度的社会資本」である。³⁹これをふまえると同窓会の「場」はストロング・タイズといえるだろう。⁴⁰

前述の「一般高校の就職ルート」で取り上げた例では、脱工業化の流れとともに、そのような「制度的社会資本」が弱まり、「ロスト・イン・トランジション」が起き、それがもとで、若者が新しい所属や行き先を失ってしまっている現状を紹介した。そのような状況下で、ウィーク・タイズの強化をはかり、そのような若者の「場」から「場」への移動をスムーズにすることをブリントンは提案している。

しかし、一方、一部においては強力な「制度的社会資本」が機能しているのも事実である。実際に、(特に一流)大学の学生が頼るのは同窓会ネットワークや指導教官と企業のコネである。⁴¹そして、ブリントンの引用する渡辺の論文によれば、日本においてはストロング・タイズによってたくさんの情報を仕入れ、転職を成功させた例が多いとされる。<ウィーク・タイズ>の所で、マーク・グラノヴェターの研究において、アメリカではウィーク・タイズによって転職を成功させたと述べたが、それとは対照的である。

これは「ストロング・タイズが日々のやり取りを通じて、維持されて、いざという時に活用される日本」と「具体的な問題が持ち上がってはじめて、人と人との結びつきを探し出すアメリカ」の二者の文化の違いから起きるものとされている。⁴²

3-3.同窓会の社会関係資本活用の例とハビトゥス

<選挙（政治）活動から見る同窓会の社会関係資本活用の例>

³⁸ ブリントン,2008,『失われた場を探して』NTT出版 p61

³⁹ ブリントン,2008,『失われた場を探して』NTT出版 p62

⁴⁰ 黄は「ウィーク・タイズ」と「ストロング・タイズ」という用語は使用していない。しかし「見知らぬ他者と社会的関係を形成し信頼を構築する場合」と「同窓会間で信頼を構築する場合」とでは信頼において差異が生じるとしている。黄順姫,2007,『同窓会の社会学』世界思想社 p114

⁴¹ ブリントン,2008,『失われた場を探して』NTT出版 p64 図も参照されたい。

⁴² ブリントン,2008,『失われた場を探して』NTT出版 p65-66,

具体的にその「ストロング・タイズ」は同窓会という「場」において、どのように活用されるのか？わかりやすい例の一つに政治活動がある。

修猷館高校では在学時代から政治家になった先輩の伝説や現在活動している OB から話を聞かされる。卒業してからは同窓会活動で選挙事務所の手伝いや選挙運動に組み込まれる。その過程で政治家である先輩の志、政治活動、選挙戦略など具体的な環境が身近になり、政治家の生活活動へ踏み出すことがある。また、政治活動を行う際、同窓会が応援してくれることもある。⁴³

同じようなことは高崎高校においても存在する。例えば中曽根康弘氏の講演⁴⁴、さらには上野氏の選挙に協力を求める有志の呼びかけ文などがある。

黄によると同窓生の選挙（政治）活動を支援するメリットとしては①心理的な視点②社会的資本の視点③文化的な視点の3点がある。

まず、①であるが、同窓生の選挙に協力することで、「代理満足」を得る。自分は政治家ではないが、仲間が選んだ政治家の夢を叶えることで自分が満足する。また、自分には著名人の知り合いがいるという顕示欲も満たされる。

次に②であるが、同窓生が当選することで、自らのネットワークの質と量において、社会的資本のさらなる蓄積につながる。既存の意志や研究者、企業家などのネットワークに新たに政治世界のネットワークが加わることになる。

最後に③であるが前述のインタビューの「...修猷館で育った人間だったら安心感がある」という言葉のように、彼らは同窓会(学校)文化の身体性を考えることが多い。ここにおける身体性とはブルデューのハビトゥス⁴⁵のようなものである。

ハビトゥスとは、もろもろの性向の体系として、ある階級・集団に特有の行動・知覚様式を生産する規範システムのことである。各行為者の慣習行動は、否応なくこれによって一定の方向付けを受け、規定されながら、生産されてゆく。(実践感覚により行為者を入れ込む)。

ハビトゥスの特質としては①社会化の所産としての集団的被規定性②実践のノウハウとしての機能③恣意性の自明化④「自発的」な作動の4つがある。①は、それは社会化のなかで獲得されたもの(acquis)であるから、集団ごとに固有性を持ち、また容易には変わりにくい慣性、持

⁴³ 黄順姫,2007,『同窓会の社会学』世界思想社 p156,210

⁴⁴ 中曽根氏の講演は昭和 58 年に行われている。高崎高校百年史 p480

⁴⁵ 黄氏の文章や Bourdieu, Pierre,1979,La distinction. (=1990,石井洋二郎訳『ディスタンクシオン』藤原書店) vi ページと井上俊,伊藤公雄,『社会学ベーシックス 第3巻 文化の社会学』世界思想社 p249-258 と宮島喬,1994,『文化的再生産の社会学 ブルデュー理論からの展開』藤原書店 p133-134 の内容をもとにまとめた。

続性をもっている。②は、その習得の過程では無意識のうちに、ある目的の号笛な実践のシェーマが獲得され、それが行動のノウハウ(savoir-faire)として機能する。③は、ハビトゥスは知覚や思考の様式として一定の表象作用を伴うが、その根拠を問う立場からすれば恣意的であるような表象が、そこではしばしば暗黙化され、自明視されている。④は、ハビトゥスは行為主体のうちに血肉化された知覚、思考、行為の傾向であるだけに、明示的な規範やその規制なしに作動するものであり、その限りではしばしば「自発性」を表示するような感情とともに作用する。すなわち、個人は自らの無意識的なハビトゥスを、回顧によって意識化し、それに反省を加え、熟考し、その意味内容を解釈する。

ここでいうならば他校とは相容れない文化的差異、つまり「修猷館らしさ」である。同じ学校の卒業生であってもさまざまな人がいる。学校生活でも適応の仕方は異なる。しかし、選挙（政治）活動を通し、自らの学校的過去の集合的・個人的記憶を喚起し、また、自らの身体に刻み込まれ共有している学校文化を省察するのである。無意識的な学校文化の型、習慣からなるハビトゥスを意識し、解釈する。結果、同窓生なら誰もが共有するであろうとみなすハビトゥスのあり方を想像するのである。⁴⁶故に、「親しくない人でも修猷館で育った人間だったら安心感がある。」というような一見、理不尽かつ非論理的な行動が成り立つのである。

以上の通り、高崎高校が政治家を輩出し続ける要因の一つに同窓会が大きく関わっていることがわかる。

<小活-「脱工業化の波」に打ち勝つ、同窓会の持続可能性->

パットナムは以下の言葉を述べる。

「信頼することが、信頼した相手から弱みにつけ込まれるのではなく、返礼としてその相手から信頼し返される、とメンバーが確信できるような共同体にあって、交換は生まれやすい。逆に言えば、長期間にわたって交換を繰り返すと、一般化された互酬性の規範は強まる傾向にある。」⁴⁷

⁴⁶ 高崎高校のハビトゥスの具体的な例としては以下のものが挙げられる。「校歌・応援歌」、「高崎高校と前橋高校の定期戦」、「翠巒祭（文化祭）」、「対面式」（「上級生が新入生をひたすら野次る」など派手に盛り上がる（？））、「真下のカレー」（校門前の駄菓子屋の裏メニュー。一杯100円、大盛り200円のカレー）、「高スペ」（近くの喫茶店「プランタン」の裏メニュー。激辛スパゲッティで、新歓期に新入生に食べさせる定番のメニューである。）

同窓会の飲み会の席などでは、他校では決して見られないような、これらの「高高らしい」キーワードを通し、自らの学校的過去の集合的・個人的記憶を喚起し、また、自らの身体に刻み込まれ共有している学校文化を省察するのである。

真下のカレーのイメージは以下のブログ URL を参考にされたい。2013.11.25 取得

<http://plaza.rakuten.co.jp/fpkoya/diary/200704300000/>

⁴⁷ 一般化された互酬性とは「相互期待を伴う交換の持続的關係」のこと⇔均衡のとれた互酬性

また、黄は同窓会の社会資本の蓄積において以下の言葉を述べる。

「同窓生のためにやることが、自分のネットワークのためになるということも十分に知っている。」しかしながら、意識のうえでは計算づくでなく、同窓生のために働きたいと考え、行動するため、社会的資本の蓄積を目的としていないにも関わらず、結果的に資本が蓄積していく⁴⁸

3章の内容はもちろん、以上の言葉をふまえると、同窓会は信頼の交換を、ストロング・タイズという規範の中において繰り返し続けていっていることがよくわかる。ここから同窓会の持続性は高いものと推測できる。

4章:同窓会と地域発展

4-0.序

ブリントンが対象としている都市部の地域、いいかえればブリントンがウィーク・タイズを提唱する地域(東京、神奈川などの都市部)では管見の限り、高崎高校のような同窓会は機能していない。また、山田昌弘の希望格差社会を例にしてみても、大学を出てもサラリーマンになれるわけではない。企業においても、いつリストラされるかわからない。⁴⁹このような現状をふまえると、一般的な大卒者においても、「制度的社会資本」の機能の低下が見えてきているのも事実である。

しかし、高崎高校の場合、大学卒業者は多くの者が就職し、中でも公務員や群馬銀行など地元就職の割合が大きいのが特徴的である。早稲田、慶應など都市部の大学への進学率が高まっているにも関わらず、彼らはUターン就職をするのである。

では「なぜ、東京、神奈川で機能しないものが群馬で機能するのか?」。本章ではそれらを分析していく。

4-1.経済界の機能

考えられる仮説としては「同窓会の存在する地域の経済界が機能している。だからこそUターン就職が可能である。」ということである。そこで本章では群馬県の経済規模に関するデータ

(「プレゼント交換など、同じ価値品目の同時交換のこと。」)パットナム,2001,『哲学する民主主義-伝統と改革の市民的構造-』NTT出版 p214

⁴⁸ 黄順姫,2007,『同窓会の社会学』世界思想社 p222

⁴⁹ 「ニューエコノミーの進展により、職業は不安定なものとなり、新しい経済システムに適応できる能力のある人と、落ちこぼれてフリーター化する人の格差が広がっている。....学校教育のパイプラインシステムに漏れが生じ、『努力して学校に行きさえすれば、一定の職に就ける』という期待が急速に失われつつある」山田昌弘,2004,『希望格差社会-「負け組」の絶望感が日本を引き裂く』筑摩書房 p258-259

を簡単にまとめていきたい。⁵⁰

〔群馬県〕

まず、群馬県についてまとめる。

○概略

日本列島のほぼ中央にあつて、県西・県北の県境には山々が連なり（3分の2が丘陵山岳地帯）、南東部には関東平野が開ける内陸県。旧国名の上野国由来の異称として「上毛」、「上州」がある。

○人口

2012年の群馬県の人口は199万944人（住民基本台帳）。

○主要産業

2009年の県内総生産の額は648万1375円(平均941万9843、中央値は486万488円)⁵¹。2013年9月の有効求人倍率は1.00倍。（全国平均は0.95倍）⁵²

輸送用機器・金型・電気機器・繊維等の基盤技術産業、電気機械・自動車・ロボット・医療機器等のアナログ産業、医療・食品、太陽光発電、燃料電池、次世代自動車等の環境関連産業が盛んである。⁵³

〔高崎市〕

次に高崎高校の所在地である高崎市を調べる⁵⁴。

○概略

高崎市は群馬県の南西部に位置し、関東平野の一端を形成するとともに、山間部や丘陵地といった多様な性格を併せ持つ地域。江戸時代は中山道の宿場町、現在は関越自動車道や上越新幹線など、首都圏と東日本を結ぶ、交通の要所として古くから栄えてきた。

○人口

高崎市の人口は37万781人（県内の19%ほどの人口）。これは県庁所在地の前橋市の33万8118人をしのぎ県内最大。2006年の近隣自治体との合併から現在の人口となる。

○主要産業

⁵⁰ 主に内閣府のデータや日経 NEEDS データベースのデータより作成した。

⁵¹ 県内総生産1位の東京と47位の鳥取では8164万2769円もの差が生じていたので平均だけでなく中央値も求めた。

⁵² 群馬労働局 HP,2013.11.25 取得,<http://gunma-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/library/gunma-roudoukyoku/happyou/2013/happyou251029.pdf>

⁵³ 群馬県 HP2013.11.25 取得 <http://www.pref.gunma.jp/06/g0110004.html>

⁵⁴ 井草祐美,2013,『群馬県高崎市における産業振興のあり方に関する考察』地域政策研究(高崎経済大学地域政策学会)や高崎市 HP <http://www.city.takasaki.gunma.jp/>(2013.11.21 取得)を参考にまとめる。

(2013年9月の)有効求人倍率は1.66。⁵⁵ 井草の論文によると、卸売・小売業の占める割合が大きく、製造業における割合は小さい。しかし、一方で工場誘致を盛んに行い、「電子部品・デバイス」や「輸送用機械器具」などの先端技術期待産業をはじめ、食料品製造業や金属製品製造業にも最近は力を入れてきている。

〔県庁や群馬銀行、その他群馬県の主要企業の状況〕

最後に高崎高校卒業生の主な就職先である県庁、群馬銀行、その他群馬県の主要企業の状況についてまとめる。

○県庁⁵⁶

平均給与は508万(平均年齢43.7歳)。都道府県平均が509万(平均年齢43.7歳)である。採用数は全体で1015人。高崎高校OBの主な就職先の一つ。2010年の県の経済成長率は実質5.2%(都道府県ランキングで11位)。県内総生産は上記の通り。

○群馬銀行⁵⁷

平均給与は715万(平均年齢38.9歳)。従業員数3366名。高崎高校OBの主な就職先の一つ。企業の安全性分析の指標の一つである、自己資本比率は13%と高い(銀行の場合、国際統計基準だと8%以上が望ましいとされる)。格付けもムーディーズでA2と高い。地銀ランキングは11位/84社。また、県内のみならず、隣県の埼玉、栃木さらには京浜地区にも積極的に進出している。本店は前橋市。

○ヤマダ電機

家電最大手。平均給与は392万(平均年齢32.6歳)。従業員数1万699名。郊外に大型店舗を構える戦略で急成長してきた。海外(中国)にも積極的に進出している。最近はスマートハウス事業を中心にしている。本社は高崎市。

○ベイシア

北関東地盤のショッピングモールセンター。未上場ではあるが、北関東に10店舗を展開。最近は低価格販売とプライベートブランドを主な戦略とする。本来の業績のほか、財務活動を含めた会社のトータルな業績を表す経常利益を2011年より伸ばし続けている。従業員数は10416名。平均給与は未公開(大卒初任給20万5000円)。本社は前橋市。

○サンデン

⁵⁵ 群馬労働局HP,2013.11.25取得,<http://gunma-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/library/gunma-roudoukyoku/happyou/2013/happyou251029.pdf>

⁵⁶ 群馬県HP2013.11.25取得 <http://www.pref.gunma.jp/07/a1610060.html>

⁵⁷ 企業データは2013年4集(秋号)四季報より

一部上場。カーエアコンのコンプレッサー世界シェア 2 位。車だけでなく、自販機にも進出。平均給与は 660 万(平均年齢は 41.9 歳)。本社は伊勢崎市。

○備考 1

群馬県の企業の平均給与は 448.5 万円(平均年齢 41.2 歳)。⁵⁸全国平均は 409 万⁵⁹。

○備考 2

群馬県に本社はないものの、主要工場がある大企業に、信越化学工業(安中市)、富士重工(太田市)なども存在する。⁶⁰

4-2.小活

高度成長期以降の人口移動の研究をまとめた、荒井良雄,川口太郎,井上孝,『日本の人口移動-ライフコースと地域性-』によると、⁶¹地元就職の割合が増えている地域の要因として主に以下の 3 点を挙げている。

①大都市圏と地方圏における就業機会のバランス(地方圏と大都市圏の求人倍率の相対的な格差縮小)

②マスメディア・交通機関の発達や施設の立地で地方圏にも大都市圏並みの情報やアメニティの享受が可能となった。

③自治体単位での「Uターン就職フェアの開催」などの努力

①は群馬県、高崎市の経済基盤で述べたように両者の経済規模、有効求人倍率は平均以上のものである。高崎市に関しては地方都市の分類ではトップクラスの規模である。また、比較的安定した企業も存在する。②は関越自動車道や上越新幹線などの県内のインフラがある点から満たしている。③は、県をはじめ自治体はもちろん、上毛新聞社を中心に「群馬県の就職フェア」などの催しが行われている。⁶²

高崎高校の OB たちは、地元就職をすることで地元家庭を築く。そして、子どもが息子である場合、子どもを高崎高校に入れようとする。実際に名簿を分析した結果、父子共に高崎高校卒という場合が多く見られた。

⁵⁸ 群馬県 HP2013.11.25 取得 <http://www.pref.gunma.jp/07/a1610060.html>

⁵⁹ 国税庁平成 23 年民間給与実態統計調査結果

⁶⁰ 信越化学 HP<http://www.shinetsu.co.jp/>富士重工業 HP<http://www.fhi.co.jp/> 2013.11.25 取得

⁶¹ 荒井良雄,川口太郎,井上孝,2002,『日本の人口移動-ライフコースと地域性-』古今書院 第 2 章、第 3 章(p15-52)を参照されたい。

⁶² 上毛新聞社 HP <http://www.web-jumps.com/> 2013.11.25 取得

以上から県内の経済界の機能が同窓会の存続に影響していることがわかる。

<結論>

5章:結論

5-0.序

広井良典によると、戦後の日本社会とは、「農村から都市への人口大移動の歴史」であった。都市に移った日本人は都市的な関係性を築いていくかわりに「(核)家族」という、閉鎖性の強いコミュニティをつくった。これは家族の利益を追究することが、個人のパイの取り分の増大にもつながるという意味で一定の好循環を作っていた。しかし、経済が成熟化し、そうした好循環の前提が崩れるとともに、家族のあり方が流動化・多様化する。それはかえって個人の孤立を招き、「生きづらい」社会や関係性を生み出した。⁶³

このように社会的紐帯がゆるんでいくことは、人々が個人個人でいたいことをして生きるという理想を実現し始める反面、イエやムラなど前近代に起源がありながら、経済成長を支えるなどした社会的準拠の喪失を意味する。⁶⁴

近代社会以降、「私」の力が強まり、「公」の力が崩れ、結果、それが人々の生きづらさにつながっている。⁶⁵「私」の「公」への侵略を防ぎ、両者のバランスの取れた社会をどう形成していくか?そのような新たなコミュニティ作りが模索される現代において、どのような解決策が存在するのか?

5-1.高崎高校同窓会の褒められるべき点-「公」と「私」のバランス均衡-

解決策のヒントの一つとして本書の研究テーマである「同窓会」があると考ええる。

同窓会の特徴を整理すると以下の通りである。

◎ 「コミュニティの持続性の高さ」:安定的な経済基盤のもと、同窓会は信頼の交換をストロング・タイズという規範の中において繰り返し続ける。その例としては選挙(政治)のさかんな活動(3章)や地元就職の比率の高さ(4章)が挙げられる。

⁶³ 広井良典,2009『コミュニティを問いなおす-つながり・都市・日本社会の未来』ちくま新書

⁶⁴ 飯尾潤,2008,『政局から政策へ-日本政治の成熟と転換』NTT出版 p89-90

⁶⁵ われわれの生きる近代は、同じ近代でも個人、私中心の近代であり、範型と形式をつくる重い任務は個人の双肩にかかり、つくるのに失敗した場合も、責任は個人だけに帰せられる。そして、いま、相互依存の範型と形成期が溶解される順番を迎えている。ジムグント・バウマン,2001,『リキッド・モダニティ 液状化する社会』大月書店 p11

「産業革命以来の近代を固体的(ソリッド)な近代と呼ぶ。それに対し現代を流動的(リキッド)な段階とする。個人や時間・空間、仕事、共同体…明確な枠組みが存在した固体的近代に対し、現代ではそれらが流動的になり未来への展望が薄くなる。」このような現代社会を「リキッド・モダニティ」として、それが、時間・空間、仕事、共同体のそれぞれの視点においてどのような影響を人々に及ぼしたかを明らかにした。

バウマンは「私」が「公」を侵し、公的空間がなくなっていく現状に対し、「自立した社会なくして、自立した個人は存在しない。そして、自立した社会は意識的、計画的な自己形成をへて成立するのであったそれは構成員の集団的努力によってのみ可能なのである。」⁶⁶と述べる。

「私」が「公」を侵し、公的空間がなくなっていく現状の例としては3章ブリントンの「ロスト・イン・トランジション」や4章の山田の「希望格差」が挙げられるだろう。その現状に対し、必要な「自立した社会」を実現し「自立した個人」を成立させるには「コミュニティ」が必要である。なお、ここでいうコミュニティの定義とは「個体を社会全体につなぐ中間的な集団」である。⁶⁷

同窓会には先述の通り「持続性の高さ」が特徴として存在する。盛んに行われている活動を通し、同窓生が気軽に集まれる。全く面識のない人物同士でも、同窓会の飲み会の席などでは「校歌」などのキーワード（3章の脚注46参照）を通し、互いに、自らの学校的過去の集合的・個人的記憶を喚起し、また、自らの身体に刻み込まれ共有している学校文化を省察するハビトゥスの機能が働く。つまりそこでは集団と個人の出会い、交渉の場の「中間的な集団」が成立している。そして、この集団を通し、自立した個人が生まれる。実際、冒頭部分や2章において「OBが後輩の就職・ビジネスの相談や世話」をすること。そして後輩がそれをきっかけに就職・転職・起業などし、社会人として自立する。これが例として挙げられる。

「同窓会という場」において世代や現在の所属に関係なく、話し合える。一人一人に意見が生まれる。その意見の束がさらなる連帯へつながる。この強固な「連帯」こそが、衰えつつある「公」の力を復活させ、「私」とのバランス均衡を形成していくのではないだろうか。

5-2. 高崎高校同窓会の褒められるべき点-一般家庭も政治家はじめ上層ノンマニユールへ-

3章でまとめたハビトゥスの例を見るように、同窓会は社会資本のアクセスが容易であることが特徴であることがわかった。同窓会の社会資本の種類は、政治経済はもちろん、教養文化まで幅広い。⁶⁸ここで注目すべきなのは、高校時代の家庭環境に関係なく、社会資本のアクセスが

⁶⁶ ジムグント・バウマン, 2001, 『リキッド・モダニティ 液状化する社会』大月書店 p52

⁶⁷ (人が家族組織の上に村をつくるように) 人間の社会は最初から個体ないし個人が「社会(集団全体)に結びつくのではなく、その間に中間的な集団をもつ。したがって、個体の側から見れば、それはその中間的な集団「内部」の関係と、「外部」の社会との関係という、2つの基本的な関係性をもつ。広井良典, 2009 『コミュニティを問いなおす-つながり・都市・日本社会の未来』ちくま新書 p23-24

⁶⁸ 同窓生はネットワークを通して、美味しい料理を出す店を紹介されたり、家族の怪我、病気、介護のために医者同窓生に助けられたり、事業の失敗や離婚問題などを同窓生の弁護士に相談したり、日常生活のさまざまな問題に対処する場合がある。また、同窓生に誘われ美術館やコンサートに出かけ「自由な教養」、「高級文化」の消費を高めることができる。このような場

可能であるということだ。

例えば高崎高校 OB の下村博文は 9 歳の時に交通事故で父親を亡くして以来、交通遺児として過ごしてきた。そのため奨学金を頼りに高崎高、早大を経て、政治家となる。下村は板橋区を拠点に活動しているが、彼を応援する高崎高校 OB は少なくない。⁶⁹また下村自身も母校である高崎高校の活動（同窓会や現役高崎高校生の国会見学など）にも積極的に参加している。⁷⁰

もちろん、その他のネットワークもあつたに違いないが、少なくとも 3 章の選挙（政治）活動の社会関係資本活用の例で見たようなネットワークが働いていると推測できる。

日本の選挙においては、供託金はじめ、その他ポスター印刷代、選挙カーなどの選挙費用も含め、高い傾向がある。⁷¹基本的に立候補者はそのような選挙費用を応援者の寄付金などでまかなう。当然ながらそこでは上記のようなネットワークが大切になってくる。そのようなネットワークを形成しやすいところに同窓会のメリットはある。

そのようなネットワーク形成の容易さは政治活動に限らず、ビジネスの場においても有効である。2011 年の東京同窓会においては、不動産、広告代理店、IT、証券、出版、メーカー、公認会計士など幅広い職種の交流が見られた。そのような交流は自分の現在の仕事のヒントにつながることはもちろん、転職活動においても有利に働くだらう。

5-3. 高崎高校同窓会の批判されるべき点-メリトクラシーの限界-

高崎高校同窓会はその揺るぎない伝統を武器に社会に大きく貢献してきた。しかし、その伝統が限界にきている点も指摘しなければならない。その根拠の一つとして「メリトクラシーの限界」がある。

<メリトクラシーについて>

メリトクラシーとはなにか？（教育）社会学者の竹内洋はメリトクラシーの概念を以下述べる。「近代社会においては大きな技術変化によって、職業上の必要技能条件が上昇する。従って、

合、同窓生のネットワークによる社会的資本は、上質で贅沢な生活世界、品格・品位を備えるという、感情、価値の「エートス」の領域において利益を創出したのである。黄順姫,2007,『同窓会の社会学』世界思想社 p104

⁶⁹ 下村博文を応援する高崎高校 OB の医師(72 期)2013.12.3 取得

<http://www.umeyama.jp/roku145.html>, 後援会・博友会は高崎高校 OB のメンバーで構成されている。2013.12.3 取得 http://hakubun.cocolog-nifty.com/main/2008/06/post_89ed.html

⁷⁰ 高崎高校生の国会見学の様子。2013.12.3 取得

<http://hakubun.jp/2008/09/%E9%AB%98%E5%B4%8E%E9%AB%98%E7%AD%89%E5%AD%A6%E6%A0%A1%E3%81%AE%E5%AD%A6%E7%94%9F%E3%81%A8%E3%81%AE%E6%87%87%E8%AB%87%E4%BC%9A/>

⁷¹ 国政選挙の比較では日本（衆議院小選挙区）では 300 万必要なのに対し、韓国は 135 万、イギリスは 8 万、ニュージーランドは 2 万 4 千と、比較的安い。また、アメリカ、フランス、ドイツではそもそも供託金の制度がない。売名行為の立候補の防止というメリット。国民の政治参加の機械を奪うというデメリット。主にこの 2 点が挙げられるが、本稿ではこれについて議論はしない。

世襲や情実による人員配置は複雑な職務と不適合になる。社会的地位の高い職務は高度の技能と才能を持った人材を要求する。このような職業上の技術や技能あるいは一般的能力は学校で教えられる。したがって教育資格がもっともすぐれた技能・能力指標になる。その結果、近代社会においては学校教区によって技能を取得したものが上昇移動する。」⁷²教育資格が重視される傾向。そしてそれに伴い階層の上昇が可能になってくる傾向。両者が強まるにつれ、人々は「学歴によって生まれ変えられる」という認識を持つようになる。⁷³結果、2章<高度経済成長と進学率の上昇>で述べた通り、親たちは高度成長で得た資金で、児童を少しでも上級の名門校に通わせようと、進学塾に子どもを通わせる。この状況に対しても、2章で述べた通り、高崎高校もこれに対応し、受験指導を徹底してきた。

<メリトクラシーの限界>

しかし、メリトクラシーはポスト工業化社会の流れとともに限界が訪れる。ハイパー・メリトクラシーの誕生である。教育社会学者の本田由紀によると、ハイパー・メリトクラシーはポスト近代化によるメリトクラシーの発展形態で、場面における個人の実質的有用性に則される傾向にある。

近代では基礎学力、標準性、知識量、順応性、協調性が必要とされていたのに対し、ポスト近代では生きる力、多様性、意欲、創造性、個性、能動性、交渉力が必要となっている。従って、学校教育は特定分野に突出するのではなく万遍的に質の高い人間を育成しようとする。その結果、知識の量が多いが目標設定が不明確な”創造的人材”が作られることになる。⁷⁴この時、人格的資質、特に対人能力や意欲、問題解決能力などの柔軟な感情的能力が、同一の教育歴をもつ者の間でのさらなる選抜基準として重要化するようになる。⁷⁵

1996年の経済団体連合会の提出した「創造的人材の提言」を例に見るように、90年代以降の経済界は主体性や独創性、意欲やコミュニケーション能力、思考力などの「ポスト近代型能力」の必要性を繰り返し提言してきた。⁷⁶教育界も96年の中教審第一次答申に見られるように、「総合的な学習の時間」導入など「生きる力」（自立心、自己責任、他者との共生など）の育成を提

⁷² 竹内洋,1995,『日本のメリトクラシー 構造と心性』東京大学出版

⁷³ 荻谷剛彦,1995年,『大衆教育社会のゆくえ』中央公論社 p121

⁷⁴ 本田はこれを「ハイパー・メリトクラシーの大合唱」と呼んだ。本田由紀,2005,『多元化する「能力」と日本社会 ハイパー・メリトクラシー化のなかで』 NTT 出版 p21-22

⁷⁵ 広田照幸,吉田文,本田由紀,2012『グローバル化・社会変動と教育 1 市場と労働の教育社会学』東京大学出版会 p312

⁷⁶ 本田由紀,2005,『多元化する「能力」と日本社会 ハイパー・メリトクラシー化のなかで』 NTT 出版 p41-53

言するものとなっている。⁷⁷つまり、子どもに学歴だけではなく、「自主性」や「コミュニケーション能力」を求めていることがわかる。

このハイパー・メリトクラシーに対し、当然ながら、高崎高校も前期入試選抜の過程で「総合問題」を取入れたり、⁷⁸スーパー・サイエンススクール(SSH※高崎高校独自のカリキュラムではなく、文部科学省独自のカリキュラム)やヒューマン・サイエンス (HS) ⁷⁹のような独自カリキュラムを取入れたり工夫をしている。しかし、前期入試選抜の合格者数の割合は変わっておらず、相変わらず、ペーパーテスト一発の後期入試選抜の定員の割合を維持している。(平成 19 年から平成 21 年は前期入試合格者の割合を増やしていたが、それ以降は定員を元に戻している。)。また、HS は希望者かつ成績優秀者のみのクラスで、高崎高校全体のカリキュラムではない。(事実上、SSH や HS は東大京大など難関国公立大の選抜クラスになっている。)

このように独自の取り組みが完全に機能しているか疑問である。そして、学校や同窓会による進路指導は生徒の進学する大学を制限しているようにも思える。(進路指導においては、推薦入試よりも一般入試を推奨している。⁸⁰さらに現役大学合格も奨励しており、「受かりさえすればどの大学でもいい」⁸¹という風潮があるようにも思える。)

教育目標で「豊かな教養と人間性、社会性を身につけた次代を担う人材の育成」をうたう割に、依然としてメリトクラシー教育がメインとなっており、現在求められている人材のニーズ(多様性、意欲、創造性、個性、能動性、交渉力など)に対応できていない現状が感じ取れる。

「先輩たちがこうしてきたからこれからも大丈夫」。同窓会の存在が、かえってニーズ対応のための学校改革を遅らせていることが推測できる。

⁷⁷ 本田由紀,2005,『多元化する「能力」と日本社会 ハイパー・メリトクラシー化のなかで』 NTT 出版 p54-58

⁷⁸ 中学の国語数学社会理科英語の融合問題が特徴的である。平成 18 年の前期選抜より取入れられた。群馬県立高崎高等学校 HP 2013.12.10 取得
<http://www.takasaki-hs.gsn.ed.jp/tyu-nyuusi.html>

⁷⁹ HS では TOEIC ビジネス体験、ディベート、海外派遣など、他のクラスと違ったカリキュラムが特徴的。群馬県立高崎高等学校 HP 2013.12.10 取得
<http://www.takasaki-hs.gsn.ed.jp/hsc/hscindex.html>

⁸⁰ 写真 3 参照。「暗闇の中でも、歩いているのは一人ではない。それぞれの光に向かって進んでいく 321 人(学年全員)の仲間と、どこに進むべきか、何をすべきか方向を示し、そして励ましてくれる高島の教師団がいる。今年 1 年は、山あり谷ありで、特にくじけそうになる事もあるかもしれないが、受験が終わった時に、絶対に『やり残し』を後悔することのないように、とことん頑張るぞ。」まるで、生徒全員が一般入試で受験をしないと人間的に成長しないような論調である。

⁸¹ 2012 年ごろに注目された国際教養大(プレジデント 2012.11 月 12 号 2013.12.10 取得
<http://president.jp/articles/-/8610>)や立命館アジア太平洋大などの新興大学に在学する者は名簿に一人も存在しなかった。

<CSS プログラムの導入>⁸²

高崎高校はこういった問題点に対処するためか、2012年よりキャリアサーチサイエンス(CSS)プログラムというカリキュラムを導入している。これはSSHやHSと違い、全クラス対象の取り組みであり、TOEIC講座、社会人講師による講座、新聞を教材とした情報リテラシー講座などが特徴的である。カリキュラムはSSHやHSのノウハウがもとになっている。1泊2日だった、校外研修も2泊3日に伸びている。

目標は「社会人職業力の底力として、また難関国公立の論述型入試に対応すること」

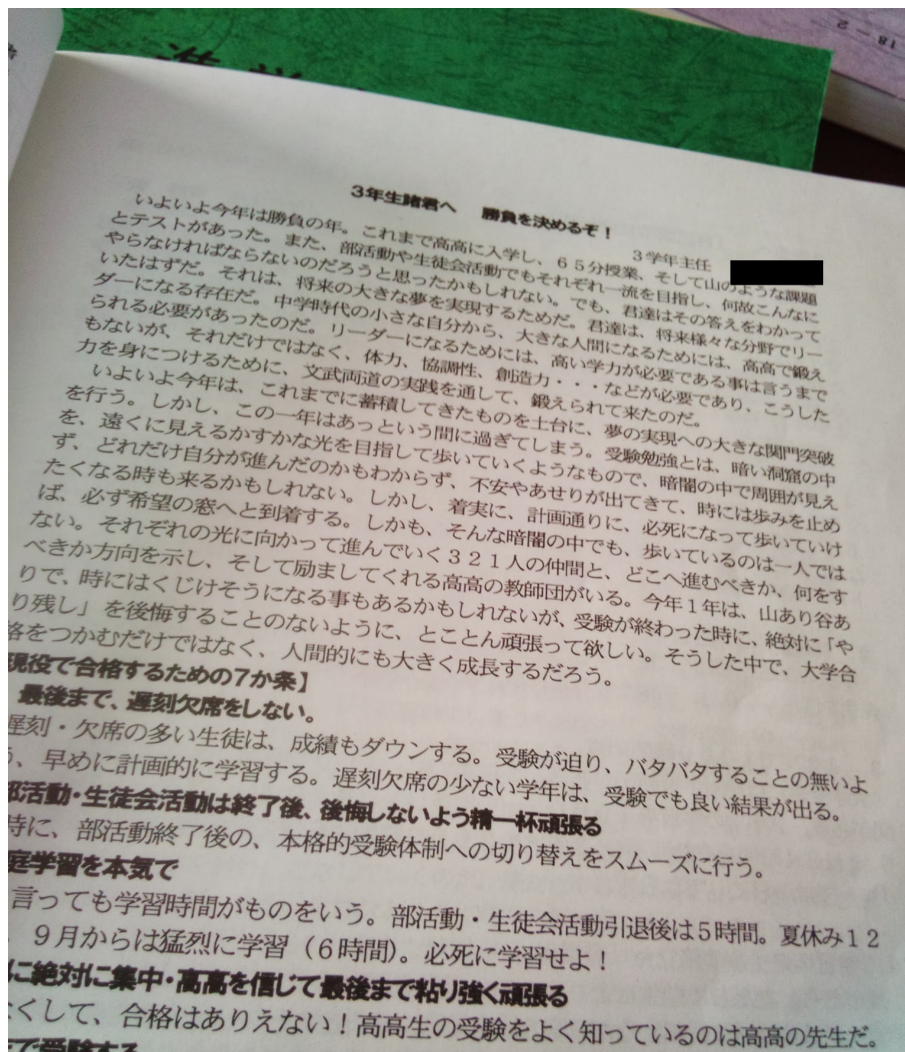
導入したばかりで具体的な成果はまだ確認できない。また、中高一貫校と違い、カリキュラムに余裕がない事情や文武両道という校風のもとで部活との両立も図らなければならない事情。⁸³乗り越えなければならない壁はたくさんあるだろう。しかし、今後の動向に注目したい。

⁸² 群馬県立高崎高等学校 HP 2013.12.10 取得 <http://www.takasaki-hs.gsn.ed.jp/css.html>

⁸³ 中高一貫校は高校2年までに履修範囲を終え、それ以降は受験のコース別に分かれる。また、中学から高校に移行する際、受験がないことを利用して、長期休暇にホームステイ(海城、九段)や卒論を書かせる(麻布)などの独自教育を行うところもある。浅野学園.2013.12.10取得.<http://www.asano.ed.jp/education/curriculum.html>,海城中学・高校.2013.12.10取得.http://www.kaijo.ed.jp/education/education_curriculum.html 麻布学園.2013.12.10取得.<http://www.azabu-jh.ed.jp/kyouiku/kyouiku.htm>,千代田区立九段中等教育学校.2013.12.10取得<http://www.kudan.ed.jp/>

一方、一般的な県立高校の場合は数ⅢCや世界史の範囲が高3秋に終わるなど中高一貫校に比べ余裕のないカリキュラムになっている。群馬県立高崎高等学校,2013.12.10取得 <http://www.takasaki-hs.gsn.ed.jp/p-shirabas.html>神奈川県立湘南高等学校,2013.12.10取得 <http://www.shonan-h.pen-kanagawa.ed.jp/zennichi/kyoikukatei.html><http://www.shonan-h.pen-kanagawa.ed.jp/zennichi/kyoikukatei.html>

写真 3. 前述の冊子より



5 - 4. 未来よ 燦(さん)と輝け-

「伝統よ 更に栄えあれ」

この言葉は高崎高校の校歌の歌詞の最後にあるものだ。後輩に応援メッセージを送る際や母校のますますの発展を祈る際、よく使われる言葉でもある。実際に、2012年、春のセンバツに出場した時、ブログ等でこの言葉を多く見かけた。⁸⁴

⁸⁴ センバツ出場時に書かれたブログ。2013.12.8 取得

<http://ameblo.jp/monyu18/entry-11147819520.html> その他同窓会の場においてもこの言葉は

110年の長い歴史において、高崎高校同窓会は政治、経済、教育、文化等、様々な分野において社会に貢献する人材を輩出し続けてきた。しかし、3-2で述べたように、現在では、その伝統によるいきすぎた進路指導が行き詰まっている側面もある。また、何年も前⁸⁵より、教育目標で「豊かな教養と人間性、社会性を身につけた次代を担う人材の育成」をうたう割に、CSS プログラムなどの全学通じた新しい取り組みの導入が2012年からなど、出遅れている感がある。脚注83を参考にしても他校は独自の教育をほどこし、生徒の人材育成に努めている。それらと比較してなおさらそのように感じる。

ところで福澤諭吉は「文明論之概略」で以下の言葉を述べている。⁸⁶

「徳は智に依り、智は徳に依る」

「学問のすすめ」において、福澤は、国家の発展途上の段階においては、国民は直ちに、読み書き、計算、経済学、工学などの「実学（サイアンス）」を学び、文明を発展させるべきだと主に述べている。しかし、その3年後に書かれた「文明論之概略」では以上の言葉の通り、国民は、実学だけでなく(漢詩、漢語などの)教養も身につけ、倫理観を養うことの大切さを説く。「徳」（軽重大小を見分ける判断力や倫理）と「智」（知識）の両立。国家の成熟期にはそれを通し、「独立自尊」の精神を養っていく必要性があると説いた。

福澤の精神は慶應義塾に入学して、講義や彼の著作を実際に読んで知ることができた。慶應義塾流に言えば、真のリーダーシップを発揮するには、「独立自尊」つまり、権力や社会風潮に迎合しない態度で、自己の尊厳を守り、何事も自分の判断・責任のもとに行わなければならない。

時代はメリトクラシー型の人間よりも、主体性や独創性、意欲やコミュニケーション能力、思考力などの「ポスト近代型能力型」の人間を求めている。知識偏重の人間よりも主体的に行動できる人間の方が求められている。

今の高崎高校はどうであろうか？2章でも述べたように、伝統への固執であろうか、大学進学・就職状況は過去30年間ほとんど変化が見られない。現役合格主義の徹底したメリトクラシー教育が行われている証拠かもしれない。一方、現在に求められているニーズに対応している群馬県内の新興中高一貫校（中央中等教育学校など）は年々進学実績を伸ばし、かつ

見られる。2013.12.8 取得 <http://www.nakajima-masaki.com/monthly/monthly49.html>

⁸⁵ 1996年11月に初めて開設されたHPに「次代を担う若者一人ひとりの可能性を大きく育て、社会や人類に貢献しうる人物を育成していこうとしています。」という記述が見られる。高崎高校百年史 p584

⁸⁶ 「学問のすすめ」や「文明論之概略」にはいろいろな解釈があるかもしれないが、「徳」と「智」に関して述べられているものに前田富士男,2009『慶應義塾創立150年記念 未来をひらく福澤諭吉展』慶應義塾や慶應義塾の卒業式で学長の言葉がある。2013.12.10 取得 http://www.keio.ac.jp/ja/about_keio/now_and_future/speech/2010/kr7a43000005idgf.html

その進学先も多様なものとなっている。⁸⁷時代の流れか、群馬県では伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校や太田市立太田中学のような「グローバル教育」や「未来創造」を教育理念とした新設中高一貫の設立も相次いでいる。

「私たちには旧制中学以来の伝統と実績があるから大丈夫」と、高崎高校の関係者は思うかもしれない。しかし、私立高校が台頭した 1970 年代以降において、都立日比谷高、県立浦和高や県立湘南高が東大合格者数を落としていった現象。⁸⁸また、私立武蔵高校のような伝統がありかつ東大合格者数を多く誇るような高校も、「海外大コース」を新たに設立し、優秀な生徒を集めようとしている現象⁸⁹。このような事例を考慮すると安心できない。

だからこそ、過去ではなく今、そして未来を見なければならない。教育目標の一つである「次世代のリーダー」をつくるためには、伝統だけにしぼられず、(その伝統も含めた) いろいろな考えをふまえ、それを客観的に判断でき、行動できる人材の育成。そんな教育が必要である。

幸いにも高崎高校には同窓会を中心に多くの社会資本が存在する。「社会の最先端で活躍している OB と生徒との対話を増やしていくこと」などそれを有効活用していくのも一つの手であろう。現在は講演会のように OB→生徒と一方的なので、双方向的なシステムが確立できればいいだろう。具体的には大学の就職活動時の OB 訪問のように「生徒が会いたい OB に直接連絡をとれるようなシステム」のようなものがあれば面白いだろう。自分が現在興味ある大学や職業。そこで活躍する OB に会って話を聞くことができる。その体験はきっと生徒の将来のビジョン形成そして行動力につながっていくに違いない。

というわけで母校には「伝統よ 更に栄えあれ」より、(校歌の 1 番)「未来よ 燦(さん)と輝いて」欲しい。

あとがき

以下は私自身の体験に基づいた主観的な文章である。

⁸⁷ 高崎高校よりも進学先が多様。また、国際教養大などの注目されている新興大学への進学も増えている。中央中等教育学校,2013.12.10 取得

<http://www.chuo-ss.gsn.ed.jp/assets/H24NyuShukiDaiGakuGoKakuShaSu.pdf>

⁸⁸ 荻谷剛彦,1995 年,『大衆教育社会のゆくえ』中央公論社 p63 によると 1960 年東大合格者 141 名の日比谷高校は 1980 年には 30 名以下になっている。

小熊英二 (2009, 『1968』新曜社 p77) によると東京都が 67 年の入試から採用した「学校群制度」(文部省が受験競争過熱防止という名目で、地域ごとに数校の都立高校を「群」の編成し、受験生は「群」の試験を受験させ、合格後は「群」内部の高校に割り振るという制度)により、都立名門校のランクが下がり、私立の受験校に人気集中したとされる。なお、現在、都立校に関しては、東京都の「進学指導重点校」の政策によって徐々に進学状況が改善されていっているようだ。

⁸⁹ 武蔵中高 HP2013.12.10 取得 <http://www.musashi.ed.jp/sekai.html>

朝 6:30 に起きて朝食食べて、7:50 に家を出て、10km ちょっとくらいの道を雨の日だろうが「からっ風」の日だろうが自転車を 30 分ほどこいで通学する。8:25 前後には教室の机には座っていてその 10 分後くらいにホームルームが始まる。65 分の授業を 2 回受けて、待ちに待った昼食タイム。学食はないし、放課後までは学校外に出てはいけない決まりなので、机の上で母の作った弁当を食べる。急いで食べて、午後の授業の予習、英単語・古文単語その他の暗記に取り組む。それから迎える午後の授業は昼食後ゆえに、非常に眠いのだが、寝ると怖い先生の場合、机を蹴飛ばすので、頑張って耐える。5 限が終わってようやく放課後。次は部活である。さっさと着替えて、集合し、練習メニューをこなす。僕の所属していた陸上部は県内でも 1、2 を争う強豪校ゆえ、日々、熾烈なレギュラー争いが繰り返されている。当然ながら練習中、気は抜けない。気付いたら 19 時 30 分くらいになっている。着替えて、自転車をこいで 30 分。ようやく家に着く。夕食を食べ、入浴を済ませ、疲れきった体にムチうちながら翌日の授業の予習（テスト前など日によっては復習）をこなす。気付いたら 24 時、25 時…。平日を終えて、やっと迎えた土日も部の練習・大会、模試や補習の予定である。

私の高崎高校時代の大まかなスケジュールである。「文武両道」と聞こえはいいが、振り返って、非常にづらい毎日だったように思う。文化祭は部の試合でいけない。男子校だから女性との恋愛もできない（部活やサークルのコミュニティ経由で他校に仲の良い人がいれば話は別だが。）。ボーリングやカラオケといった類いの遊びも年 2 回できればいい方。そんな毎日を「皆勤賞」で乗り切れたのは家族の応援はもちろん、友人の存在が大きかった。毎朝何一つ文句もいわず弁当を作ってくれたり、部活では試合会場まで送迎してくれたりする家族。「部活での勝利」、「大学合格」共通の目標を持って、頑張れる友人。そして、自分の場合、「目標の関東大会に出場できた」、「(一般入試で) 希望する大学へ行けた」など、頑張った分だけそれなりの結果が伴ったので、それも心の支えになったのかもしれない。「高崎高校での生活のおかげで私はすばらしい体験ができた」と、自信に満ちあふれながら春を迎えた。

が、しかし、4 月に SFC に入学して、そのような考えが一変する。SFC には「帰国子女」、「高校時代に起業した者」、「弁論大会で優勝した者」など AO 入試を突破した多様性を持った学生が多く入学してくる。どれも高校時代見たことのないような人たちばかりである。そして SFC のカリキュラムのメインとなるグループワークで彼らの発言に圧倒される。「受験勉強」と「部活」しかやってこなかった私のような人間は何も発言できない、何もできない。クラス制もないので人の流れも流動的である。共通の趣味を持った友人もできにくい。高校時代とは正反対の環境下で、だんだん無力感にさいなまれていく自分がそこにいた。「私の高校時代、私の人生は無駄だったのだろうか。」と。1 年の時は大学に通うのが苦痛で仕方なかった。

強烈なアノミー（価値や欲求の不統合状態）のなか、それでも現状をどうにかしないとけないと思った私はメディアセンターにひきこもって本を読みあさるようになる。メディアセン

ターの開いていない日曜も公立図書館や貸借協定を結んでいる大学（早大や一橋大）へ行って本を読んだくらいだ。歴史、社会学、哲学、心理学、経済学...いろいろな分野の本を読みあさった。「なんか答えが見つかるのではないか？」と。（知識をつければなんでも解決できると思う私はいかにもメリトクラシー人間らしいが。）

これが良かったか悪かったかはともかく、結果オーライで視野・視点が広がり（?）、グループワークで徐々に発言できるようになってきた。また、歴史や思想、古典に興味を持ち、小熊研にも入ることができた。また、慶應義塾（というか福澤諭吉）の「半学半教」の言葉をヒントに、「本の知識や授業で体系的に学んだことを研究会やグループワークの発表で試し、その理解を深めていく」ような、自分なりの学習スタイルも確立できた。今では大学に通うのが楽しくて仕方がない。

高校時代はすでに与えられた、決められた目標に向かってがむしゃらに3年間頑張っていた。教養とか文化とか政治経済とか全く興味がなかった。興味を持つ時間がなかったのはもちろん、「部活で勝って、大学合格すれば」なんでもよかった。先生もそれで褒めてくれた。むしろ、課外活動や留学など、受験と部活以外のことをしようとする怒られることもあった。「そんな暇があったら一つでも偏差値を上げろ。一秒でも速く走れ。」と。一方、大学では自ら考え、行動しなければ何もできなかった。目標を立てて、それに必要な戦略、知識、そしてそれが自分一人でできなそうならメンバーも募ること。

もちろん、どちらの能力も大切である。与えられた課題に対し、最後まで頑張れる力がなければ、もしかしたら自分は大学を辞めていたかもしれない。かといって言われたことをそのままやるだけのことは機械やロボットでもできる。そこで、幅広い視野視点をもって、既存の知識を組み合わせる。知識が足りないときはその分野に詳しい者を頼り、協力し合う。

大学生活、そして、本稿の同窓会の分析を通し、両者の両立の重要性に気付くことができた。おそらく読者の中には、同窓会やコミュニティに興味を持つ者の他に、高校時代と大学時代のこのようなギャップに苦しんでいる者もいるかもしれない。特に高崎高校のような地方の公立高校出身者はそうだと思う。同窓会研究はもちろん、そういった方のいいヒントとして役立てば良いと思う。

謝辞

本稿の論文の執筆にあたっては、多くの方からご指導・ご助力を頂いたことを感謝しています。まず、小熊英二教授に丁寧かつ熱心なご指導を賜りました。新書の出版やサバティカル期間という大変忙しい中、指導を受けられたことを大変幸せに思います。ここに深く感謝の意を表します。次に、日常の議論を通じて多くの有益なご意見を頂いた小熊英二研究室の皆様へ、深く感謝の意を表します。特に、ハビトゥスの指摘では御手洗君。人文科学の理論の解釈・使

用面では末澤君。そして4年時の春学期に卒論の研究方針で行き詰まった際、親身な相談を通じ活路を見いだすきっかけを与えてくれた小峰君。諸氏には大変お世話になりました。最後に「学問の楽しさ」を教えてくれた慶應義塾に深く感謝の意を表します。

お世話になったすべての方々へ、心から感謝の気持ちを申し上げたく、謝辞にかえさせていただきます。

三田山上にて 和田尉吹

参考文献

○第1章

鈴木隆祐,2005,『名門高校人脈』光文社

高崎高校同窓会会員名簿

高崎高校 100年史

○第2章

高崎高校同窓会会員名簿

高崎高校 100年史

小熊英二,2009,『1968〈下〉叛乱の終焉とその遺産』新曜社

荒井明夫, 佐貫浩, 堀尾輝久, 佐藤隆, 田中孝彦,1996『日本の学校の50年(講座 学校)』柏書房

柴野昌山,菊池城司,竹内洋1992『教育社会学』有斐閣ブックス

鈴木隆祐,2005,『名門高校人脈』光文社

黄順姫,2007,『同窓会の社会学』世界思想社

ブリントン,2008,『失われた場を探して』NTT出版

○第3章

黄順姫,2007,『同窓会の社会学』世界思想社

ブリントン,2008,『失われた場を探して』NTT出版

パットナム,2001,『哲学する民主主義-伝統と改革の市民的構造-』NTT出版

坂本治也,2010,『ソーシャル・キャピタルと活動する市民』有斐閣

野口悠紀夫,1982,『公共経済学』日本評論社

マンキュー,2005,『マンキュー経済学ミクロ編』東洋経済新報社

Bourdieu, Pierre,1979,La distinction. (=1990,石井洋二郎訳『ディスタクシオン』藤原書店)

井上俊,伊藤公雄,『社会学ベーシックス 第3巻 文化の社会学』世界思想社

宮島喬,1994,『文化的再生産の社会学 ブルデュー理論からの展開』藤原書店

○第4章

井草祐美,2013,『群馬県高崎市における産業振興のあり方に関する考察』地域政策研究(高崎経済大学地域政策学会)

企業データは2013年4集(秋号)四季報

国税庁平成23年民間給与実態統計調査結果

井良雄,川口太郎,井上孝,2002,『日本の人口移動-ライフコースと地域性-』古今書院

○第5章

広井良典,2009『コミュニティを問いなおす-つながり・都市・日本社会の未来』ちくま新書

飯尾潤,2008,『政局から政策へ-日本政治の成熟と転換』NTT出版

ジムグント・バウマン,2001,『リキッド・モダニティ 液状化する社会』大月書店

黄順姫,2007,『同窓会の社会学』世界思想社

竹内洋,1995,『日本のメリトクラシー 構造と心性』東京大学出版

荻谷剛彦,1995年,『大衆教育社会のゆくえ』中央公論社

本田由紀,2005,『多元化する「能力」と日本社会 ハイパー・メリトクラシー化のなかで』NTT出版

広田照幸,吉田文,本田由紀,2012『グローバル化・社会変動と教育1 市場と労働の教育社会学』東京大学出版会

高崎高校百年史

前田富士男,2009『慶應義塾創立150年記念 未来をひらく福澤諭吉展』慶應義塾